

次期西会津町総合計画策定のための アンケート調査結果報告書

**平成30年5月
西会津町**

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 報告書の見方	1
第2章 調査結果のまとめ	2
第3章 調査結果	4
1. あなた自身について	6
2. 西会津町での暮らしについて	10
3. 西会津町の取り組みと今後のまちづくりについて	18
4. 自由回答	49

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

平成 31 年度からの中長期のまちづくり指針となる次期「西会津町総合計画」を策定するにあたり、西会津町のまちづくりに対する町民の意向を計画に反映するため、町民を対象にアンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

調査地域：西会津町全域

調査対象者：西会津町内に在住する 15 歳以上の町民 2,073 人

（年齢及び地区別の人口構成に配慮したうえで無作為抽出）

調査方法：郵送配布・郵送回収による郵便調査方法

実施期間：平成 30 年 3 月 7 日～3 月 31 日

回収結果：配布件数：2,073 件、回収件数：952 件、回収率：45.9%

3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から 1 つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が 100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から 2 つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 経年比較の対象となっている「前回調査」は平成 21 年に実施した調査になります。なお、前回のアンケート調査は、世帯を対象として全世帯にアンケートを配布しましたが、今回は、個人を対象に年齢階層を 3 つに区分し、15～39 歳の方については全員に配布し、40～64 歳と 65 歳以上の方については、地区の人口割合に応じて無作為抽出により配布をしたため、単純に比較することができない設問もあります。

第2章 調査結果のまとめ

◇ 西会津町での暮らしについて

【問7 町の住みよさ】

- 「住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した割合が前回調査と同程度となっているものの、「住みよくない」「あまり住みよくない」と回答した割合が約6ポイント増加しており、住みにくと感じる人が増えていることがうかがえる。

【問7-1 住みよいと思う理由】

- 「自分（家族）の土地や家がある」「長年住み慣れている」「この土地への愛着がある」「自然環境がよい」といった理由が上位となっている。その他、60歳以上で「福祉が充実している」が高くなっている。

【問7-2 住みよくないと思う理由】

- 住みよくないと思う理由については、「降雪量が多い」が最も高い。その他、「将来発展の可能性がない」「働く場所、家業がない」が高くなっており、西会津町の活力維持に向けた取り組みが求められている。
- 地区別では、新郷地区で「日常生活が不便である」が、奥川地区で「交通が不便である」が最も高くなっており、地区の状況に応じた生活支援が求められている。

【問8 今後の居留意向】

- 「住み続ける予定」「できれば住み続けたい」を合わせると約6割が、引き続き西会津町での居留意向をもっている。
- 年代別では、10・20歳代で「わからない」が、30歳以上で「住み続ける予定」が最も高くなっているが、10・20歳代で「町外へ引っ越す予定」が、30歳代、40歳代で「できれば町外へ引っ越したい」が他の年代に比べて高く、若年層の町外への流出が課題となっている。

【問9 冬の暮らしの中であなたが困っていること】

- 「家の周りの除排雪」が最も高く、次いで「豪雪時の交通の途絶（道路・鉄道・バスなど）」、「積雪での住宅損壊の危険性」となっており、雪害への対策が喫緊の課題となっている。
- 年代別では、「家の周りの除排雪」のほか、70歳以上では「人と話す機会が少なくなる」が高くなっており、地域コミュニティの面からの対策も求められている。

◇ 西会津町の取り組み全般と今後のまちづくりについて

〔問 10 各取り組みの満足度と重要度〕

- 「満足している」「やや満足している」と回答した割合は、〈健康づくりの推進〉〈上・下水道の整備〉〈医療体制の整備〉〈安全・安心なまちづくり〉〈福祉の充実〉〈子育て支援の充実〉が上位となっており、特に医療・保健・福祉分野において満足度が高いことがうかがえる。
- 住みよさ別の満足度については、住みよく感じている人が住みにくいと感じている人を上回っていますが、〈医療体制の整備〉〈子育て支援の充実〉〈学校教育の充実〉〈克雪と利雪〉で満足度の差が大きくなっている。
- 「不満である」「やや不満である」と回答した割合は、〈克雪と利雪〉〈交通体系の整備〉〈商工業の振興〉〈道路網の整備〉〈農林業の振興〉が上位となっており、特にインフラ整備及び産業分野において満足度が低いことがうかがえる。
- 「大変重要である」「重要である」と回答した割合は、〈医療体制の整備〉〈克雪と利雪〉〈健康づくりの推進〉〈学校教育の充実〉〈子育て支援の充実〉が上位となっており、特に雪害対策、医療・保健・福祉及び教育・子育て分野において重要度が高いことがうかがえる。特に、〈子育て支援の充実〉は、子育て世代にあたる 30 歳代で高くなっている。

〔問 11 西会津町を将来どのような町にすべきか〕

- 「若者が働きがいを感じる企業がある町」「安心して子育てができる町」「教育が充実し、子どもがいきいきと成長できる町」が上位となっている。特に「安心して子育てができる町」「教育が充実し、子どもがいきいきと成長できる町」が増加しており、人口及び町の活力維持に向け、子育て支援の充実や働き口の確保が求められている。
- 10・20 歳代では「西会津の良き文化や伝統が守られる町」が高くなっており、若年層の伝統・文化に関する関心が高いことがうかがえる。
- 地区別では新郷地区、奥川地区では「町にある農地や森林を活かした農林業が盛んな町」が、新郷地区では「道路や上下水道、光ケーブル網などが整備され、便利で快適な町」が他の地区に比べて高く、地区の状況に応じた環境の整備が求められている。

◇ 分野別のまちづくりについて

〔問 13 道路網や交通の整備で重点を置くべきと思うこと〕

- 「集落内の生活道路の整備」「集落を結ぶ幹線道路の整備」「通学路や歩道の整備」が上位となっており、「通学路や歩道の整備」は、子育て世代にあたる 40 歳代以下で最も高くなっている。
- 地区別では、野沢地区、尾野本地区で「通学路や歩道の整備」が、群岡地区では「集落内の生活道路の整備」が、新郷地区、奥川地区では「集落を結ぶ幹線道路の整備」が最も高くなっている。

〔問 14 教育・文化・余暇・スポーツの面で重点を置くべきと思うこと〕

- 「青少年の健全育成」「教育・芸術文化・生涯学習行事などの充実」「スポーツ施設の充実」が上位となっている。
- 年代別では、10・20 歳代で「スポーツ施設の充実」が、30 歳代以上で「青少年の健全育成」が最も高く、60 歳代では「サークル、芸術文化活動の機会の充実」が、60 歳代以上では「郷土資料の保存、展示内容の充実」も高くなっていることから、世代やライフステージに応じた取り組みが求められている。

〔問 15 福祉や健康の面で重点を置くべきと思うこと〕

- 「医療施設や医療体制の充実」が5割強で最も高く、次いで「ホームヘルパー、介護支援のための人材の育成」「学童保育や認定こども園のサービスの充実」と続いている。
- 年代別では、30 歳代では「学童保育や認定こども園のサービスの充実」が最も高く、60 歳代以上では「ホームヘルパー、介護支援のための人材の育成」も高くなっていることから、世代やライフステージに応じた取り組みが求められている。

〔問 16 観光地としての魅力を高めていく面で重点を置くべきと思うこと〕

- 「滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり」「観光の魅力を効果的にアピールする宣伝」「観光資源を見て歩くことができるコースづくり」が上位となっている。

〔問 17 農林水産業振興で重点を置くべきと思うこと〕

- 「農林業従事者や組織など、農林業を支える担い手の確保と育成」「農林産物の流通・販売ルートを確立する」「農林産物のブランド化を進める」が上位となっている。
- 年代別では、10・20 歳代で「農林産物のブランド化を進める」が、30 歳代以上で「農林業従事者や組織など、農林業を支える担い手の確保と育成」が最も高くなっている。
- 地区別では、新郷地区では「遊休農地を活かす取り組みを強化する」が、群岡地区、新郷地区、奥川地区では「有害鳥獣対策の推進」が高く、地区の状況に応じた取り組みが求められている。

〔問 18 商工業振興で重点を置くべきと思うこと〕

- 「地域の農産物や観光資源を活用した特産品をつくる」「地域における雇用を確保する」「中小企業を支えるための行政の支援を強化する」が上位となっている。
- 年代別では、30 歳代以下では「各種イベントや祭りなどの交流に取り組む」が、40 歳代以下では「新しい商業地域の形成や大型店の誘致」が高く、若年層の町の活力やにぎわいの形成に向けた取り組みへのニーズが高くなっている。

〔問 19 情報化の推進で重点を置くべきと思うこと〕

- 「高度情報化に対応したインフラを整備する（無料 Wi-Fi 環境の整備など）」「観光をはじめとした町の魅力の情報発信を充実する」「小中学校における ICT 教育（情報・通信技術を教育で活用すること）を充実する」が上位となっており、生活の利便性向上及び観光客誘致に向けた取り組みへのニーズが高いことがうかがえる。

◇ **協働の取り組みについて**

〔問 20 参加しても良いと思う活動〕

- 「地域の美化や清掃などの活動」「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」が上位となっており、50 歳代以下で「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」が、60 歳代以上で「地域の美化や清掃などの活動」が最も高くなっている。
- 30 歳代、40 歳代では「学校教育を支援する活動」が、60 歳代以上では「高齢者の見守り等のボランティア活動」が高く、年代やライフステージに応じた活動を促進していくことが重要である。

〔問 21 町政やまちづくりにおいて町民の参加を進めていく面で重点を置くべきと思うこと〕

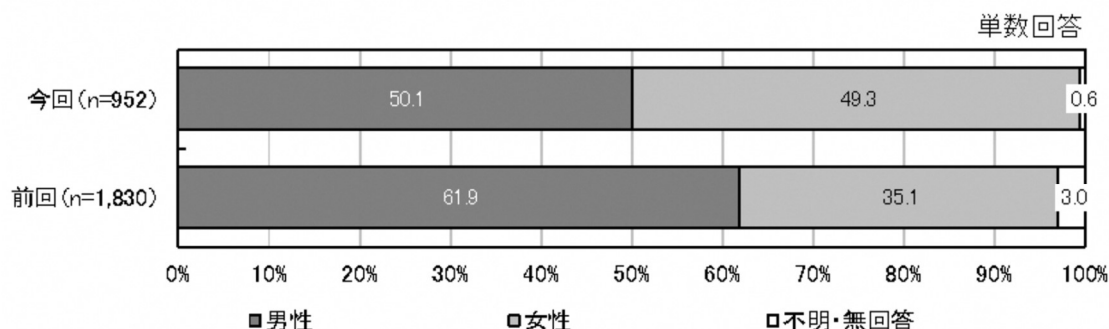
- 「広報紙やケーブルテレビを通じて参加の呼びかけをする」「町の事業や取り組みを積極的に周知し、情報の共有を図る」「活動の場となる施設や拠点を整える」が上位となっており、事業や取り組みについての一層の情報発信の充実が求められている。

第3章 調査結果

1. あなた自身について

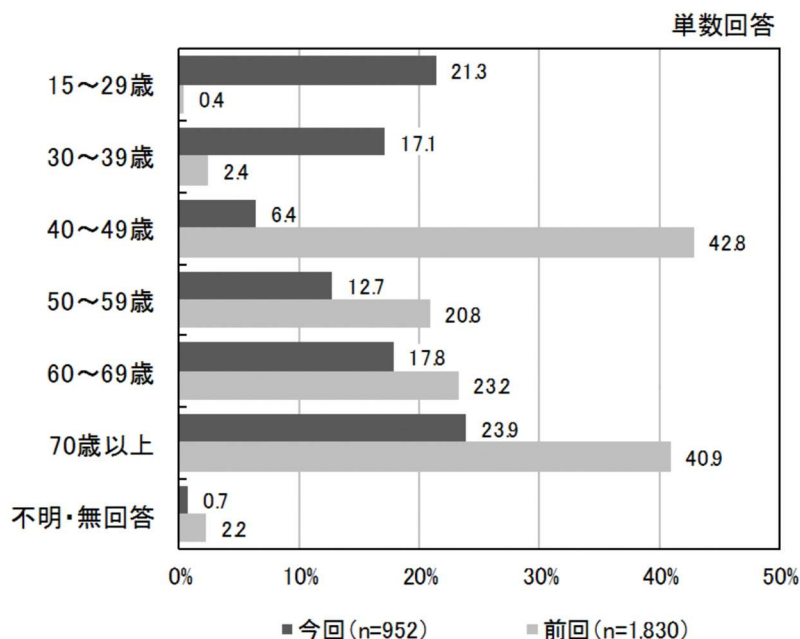
問1 あなたの性別はどちらですか。（1つに○）

回答者の性別については、全体では、「男性」が50.1%で、「女性」の49.3%を上回っています。前回調査と比較すると、「女性」が14.2ポイント増加し、「男性」が11.8ポイント減少しています。



問2 あなたは現在おいくつですか。（1つに○）

回答者の年齢については、全体では、「70歳以上」が23.9%で最も高く、次いで「15～29歳」が21.3%、「60～69歳」が17.8%となっています。前回調査と比較すると、「15～29歳」が20.9ポイント、「30～39歳」が14.7ポイント増加し、「40～49歳」が36.4ポイント、「70歳以上」が17.0ポイント減少していますが、前回調査は全世帯を対象としたため、世帯主等の回答が多かったと推測され、相対的に回答者の年齢層が高かったと考えられます。

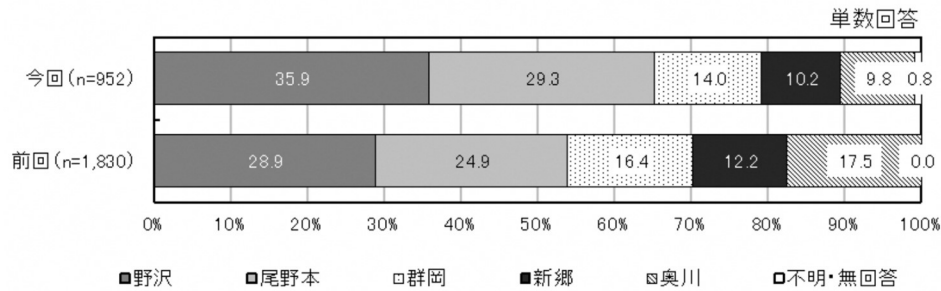


問3 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに○)

居住地区については、全体では、「野沢」が35.9%で最も高く、次いで「尾野本」が29.3%、「群岡」が14.0%となっています。前回調査と比較すると、「野沢」が7.0ポイント増加し、「奥川」が7.7ポイント減少しています。

年代別にみると、30歳代は、「尾野本」が、それ以外の年代では「野沢」が最も高くなっています。

なお、前回調査との比較は、あくまでアンケート回答者の地区別の割合の比較であり、実際の地区別人口の割合の増減を反映しているものではありません。

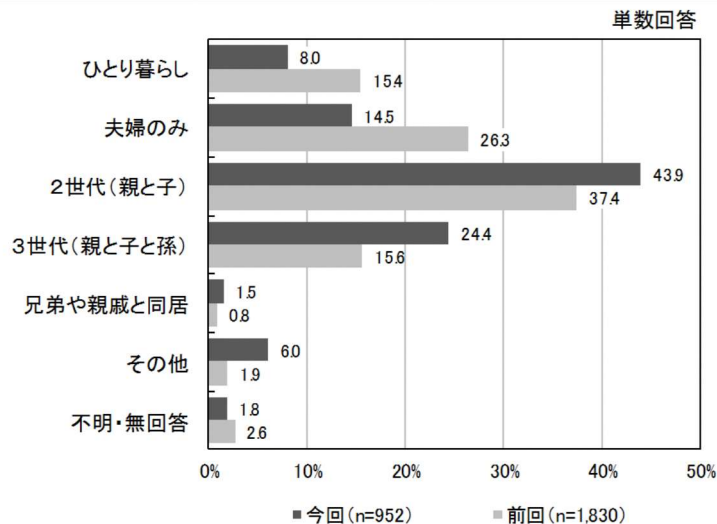


単位: %		n	野沢	尾野本	群岡	新郷	奥川	不明・無回答
全体		952	35.9	29.3	14.0	10.2	9.8	0.8
年代別	10・20 歳代	203	43.3	31.5	9.4	7.9	7.4	0.5
	30 歳代	163	35.0	37.4	11.0	10.4	6.1	-
	40 歳代	61	41.0	31.1	14.8	6.6	6.6	-
	50 歳代	121	35.5	28.1	11.6	14.9	9.9	-
	60 歳代	169	35.5	26.6	15.4	11.2	10.7	0.6
	70 歳以上	228	29.8	24.6	20.6	10.1	14.9	-

問4 あなたの家族構成は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

家族構成については、全体では、「2世代（親と子）」が43.9%で最も高く、次いで「3世代（親と子と孫）」が24.4%、「夫婦のみ」が14.5%となっています。前回調査と比較すると、「3世代（親と子と孫）」が8.8ポイント、「2世代（親と子）」が6.5ポイント増加し、「夫婦のみ」が11.8ポイント、「ひとり暮らし」が7.4ポイント減少しています。

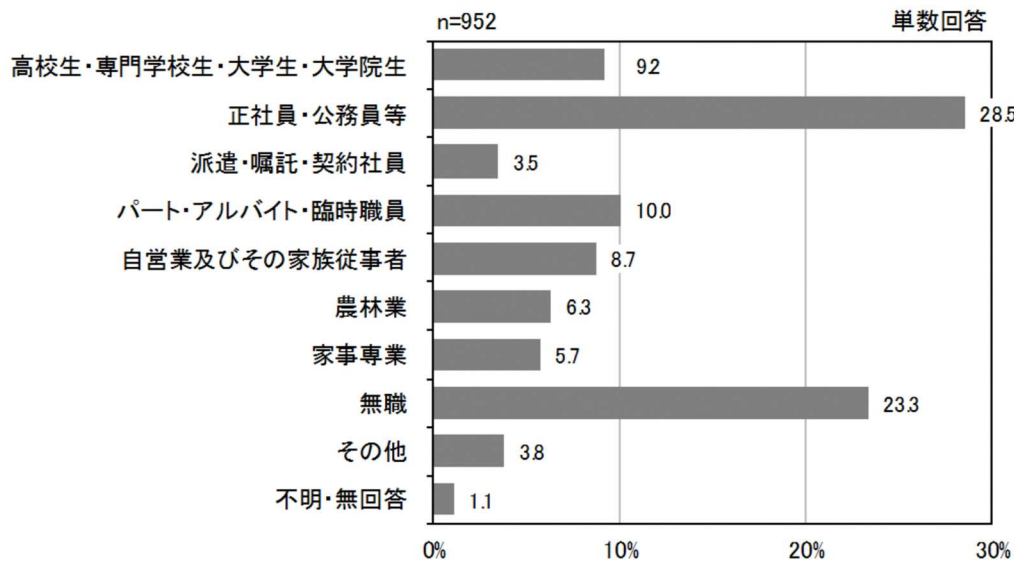
なお、前回調査との比較は、あくまでアンケート回答者の家族構成の割合の比較であり、実際の家族構成の割合の増減を反映しているものではありません。



問5 あなたの現在の職業は、次のどれにあてはまりますか。（1つに○）

現在の職業については、全体では、「正社員・公務員等」が28.5%で最も高く、次いで「無職」が23.3%、「パート・アルバイト・臨時職員」が10.0%となっています。

年代別にみると、50歳代以下で「正社員・公務員等」が、60歳代以上で「無職」が最も高くなっています。



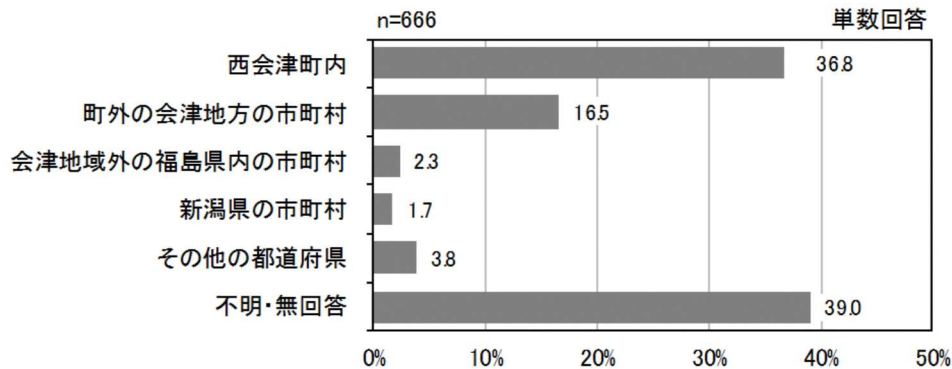
		n	高 校 生 ・ 専 門 学 校 生 ・ 大 学 生 ・ 大 学 院 生	正 社 員 ・ 公 務 員 等	派 遣 ・ 嘱 託 ・ 契 約 社 員	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト ・ 臨 時 職 員	自 営 業 及 び そ の 家 族 従 事 者	農 林 業	家 事 専 業	無 職	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
単位：％												
全体		952	9.2	28.5	3.5	10.0	8.7	6.3	5.7	23.3	3.8	1.1
年 代 別	10・20 歳 代	203	42.9	30.5	2.5	11.8	3.9	1.5	2.0	2.5	2.0	0.5
	30 歳 代	163	0.6	52.8	3.7	14.7	11.7	4.9	7.4	2.5	1.8	－
	40 歳 代	61	－	63.9	3.3	13.1	9.8	1.6	1.6	6.6	－	－
	50 歳 代	121	－	52.9	5.8	14.0	10.7	3.3	5.0	5.8	2.5	－
	60 歳 代	169	－	11.8	7.1	11.8	12.4	10.1	7.1	30.2	9.5	－
	70 歳 以 上	228	－	－	0.4	0.9	6.6	11.4	8.3	66.2	4.4	1.8

問5で、「高校生・専門学校生・大学生・大学院生」から「農林業」または「その他」を選択した人

問6 あなたの通勤・通学先はどこですか。(1つに○)

通勤・通学先については、全体では、「西会津町内」が36.8%で最も高く、次いで「町外の会津地方の市町村」が16.5%、「その他の都道府県」が3.8%となっています。

年代別にみると、10・20歳代で「町外の会津地方の市町村」が、30歳代以上で「西会津町内」が最も高くなっています。



単位: %		n	西会津町内	町外の会津地方の市町村	会津地域外の福島県内の市町村	新潟県の市町村	その他の都道府県	不明・無回答
全体		666	36.8	16.5	2.3	1.7	3.8	39.0
年代別	10・20歳代	193	25.4	27.5	6.7	2.1	11.4	26.9
	30歳代	147	39.5	13.6	-	1.4	-	45.6
	40歳代	56	42.9	16.1	-	-	-	41.1
	50歳代	108	41.7	14.8	0.9	1.9	1.9	38.9
	60歳代	106	35.8	10.4	0.9	2.8	-	50.0
	70歳以上	54	55.6	1.9	-	-	1.9	40.7

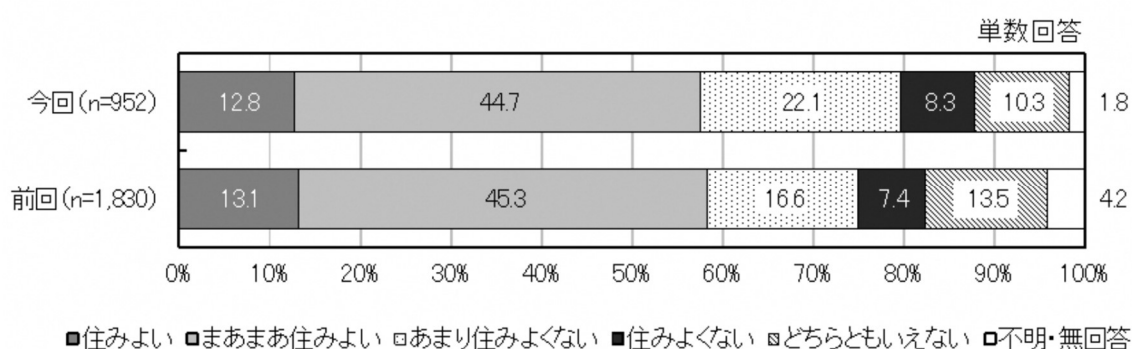
2. 西会津町での暮らしについて

問7 まち全体の印象についておたずねします。あなたにとって、西会津町は住みよいまちですか。
(1つに○)

西会津町の住みよさについては、全体では、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせた『住みよい』が57.5%で、「あまり住みよくない」と「住みよくない」を合わせた『住みよくない』の30.4%を上回っています。前回調査と比較すると、「あまり住みよくない」が5.5ポイント増加しています。

年代別にみると、いずれの年代でも「まあまあ住みよい」が最も高くなっています。また、70歳代以上では「住みよい」が、30歳代以下では「住みよくない」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区でも「まあまあ住みよい」が最も高くなっています。



単位: %		n	住みよい	まあまあ住みよい	あまり住みよくない	住みよくない	どちらともいえない	不明・無回答
全体		952	12.8	44.7	22.1	8.3	10.3	1.8
年代別	10・20 歳代	203	15.8	43.3	21.2	11.3	8.4	-
	30 歳代	163	8.6	42.3	28.8	10.4	9.8	-
	40 歳代	61	11.5	42.6	21.3	13.1	9.8	1.6
	50 歳代	121	10.7	43.8	26.4	6.6	9.9	2.5
	60 歳代	169	7.7	46.2	26.0	8.3	11.2	0.6
	70 歳以上	228	18.4	49.1	13.6	3.9	11.8	3.1
地区別	野沢地区	342	13.2	44.7	19.9	9.4	11.7	1.2
	尾野本地区	279	12.5	45.2	22.2	8.6	10.8	0.7
	群岡地区	133	17.3	48.1	20.3	3.0	10.5	0.8
	新郷地区	97	8.2	40.2	29.9	11.3	7.2	3.1
	奥川地区	93	10.8	45.2	25.8	8.6	6.5	3.2

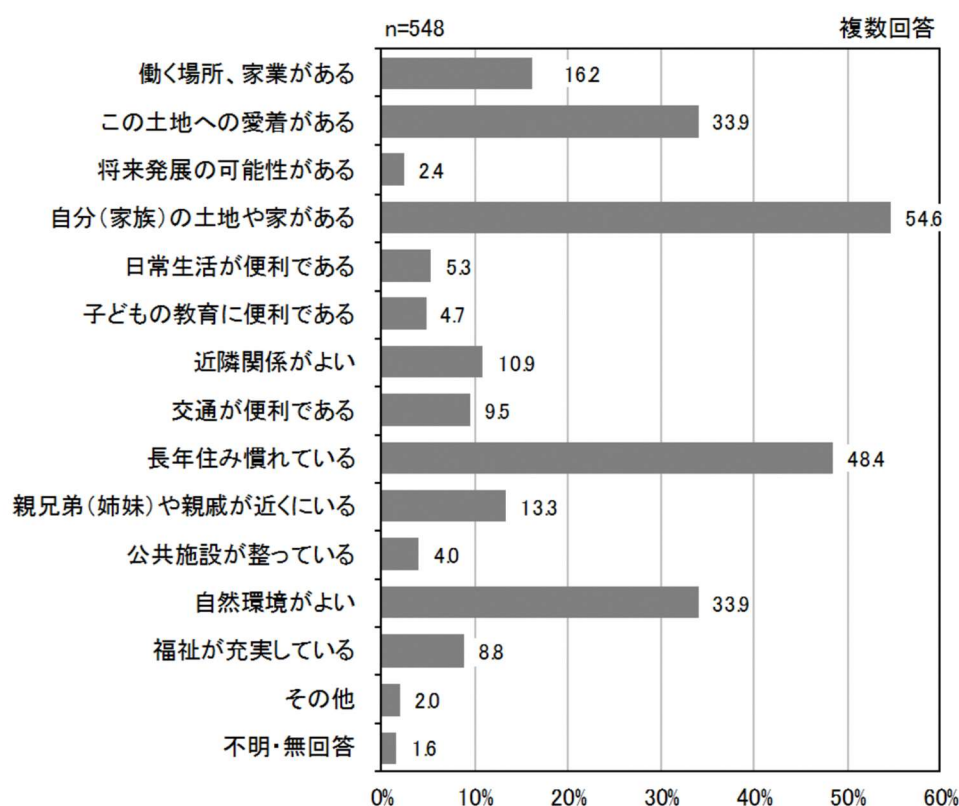
問7で「住みよい」または「まあまあ住みよい」を選択した人

問7-1 住みよいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

住みよいと思う理由については、全体では、「自分（家族）の土地や家がある」が54.6%で最も高く、次いで「長年住み慣れている」が48.4%、「この土地への愛着がある」「自然環境が良い」が33.9%となっています。

年代別にみると、10・20歳代で「自然環境がよい」が、それ以外の年代で「自分（家族）の土地や家がある」が最も高くなっています。また、50歳代で「働く場所、家業がある」が、10・20歳代、70歳以上で「この土地への愛着がある」が、60歳代で「長年住み慣れている」が、60歳代以上で「福祉が充実している」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、新郷地区で「働く場所、家業がある」が、野沢地区で「日常生活が便利である」が、奥川地区で「自然環境がよい」が他の地区に比べて高くなっています。



単位: %		n	働く場所、家業がある	この土地への愛着がある	将来発展の可能性がある	自分(家族)の土地や家がある	日常生活が便利である	子どもの教育に便利である	近隣関係がよい	交通が便利である
全体		548	16.2	33.9	2.4	54.6	5.3	4.7	10.9	9.5
年代別	10・20 歳代	120	11.7	39.2	4.2	42.5	4.2	5.0	10.8	6.7
	30 歳代	83	19.3	32.5	3.6	45.8	6.0	15.7	8.4	7.2
	40 歳代	33	15.2	24.2	—	63.6	—	—	9.1	18.2
	50 歳代	66	30.3	28.8	1.5	54.5	6.1	6.1	9.1	13.6
	60 歳代	91	16.5	30.8	—	69.2	6.6	1.1	8.8	6.6
	70 歳以上	154	12.3	37.0	2.6	57.8	5.8	1.3	14.9	11.0
地区別	野沢地区	198	15.7	36.9	1.0	50.5	10.6	5.6	9.6	9.6
	尾野本地区	161	18.0	31.1	2.5	49.1	2.5	7.5	9.9	13.0
	群岡地区	87	8.0	34.5	3.4	70.1	2.3	2.3	13.8	9.2
	新郷地区	47	27.7	29.8	4.3	55.3	—	2.1	10.6	2.1
	奥川地区	52	17.3	36.5	3.8	57.7	3.8	—	15.4	5.8
単位: %		n	長年住み慣れている	親兄弟(姉妹)や親戚が近くにいる	公共施設が整っている	自然環境がよい	福祉が充実している	その他	不明・無回答	
全体		548	48.4	13.3	4.0	33.9	8.8	2.0	1.6	
年代別	10・20 歳代	120	42.5	11.7	5.8	45.0	5.8	4.2	—	
	30 歳代	83	43.4	20.5	6.0	39.8	7.2	1.2	1.2	
	40 歳代	33	42.4	18.2	3.0	30.3	3.0	3.0	3.0	
	50 歳代	66	47.0	15.2	—	30.3	7.6	3.0	—	
	60 歳代	91	57.1	7.7	4.4	41.8	13.2	2.2	—	
	70 歳以上	154	52.6	12.3	2.6	20.1	10.4	—	4.5	
地区別	野沢地区	198	51.5	14.1	3.5	33.8	8.6	1.5	1.0	
	尾野本地区	161	47.2	11.2	3.7	33.5	9.9	1.9	3.1	
	群岡地区	87	46.0	14.9	5.7	33.3	6.9	1.1	2.3	
	新郷地区	47	46.8	12.8	6.4	29.8	8.5	4.3	—	
	奥川地区	52	48.1	15.4	—	40.4	7.7	3.8	—	

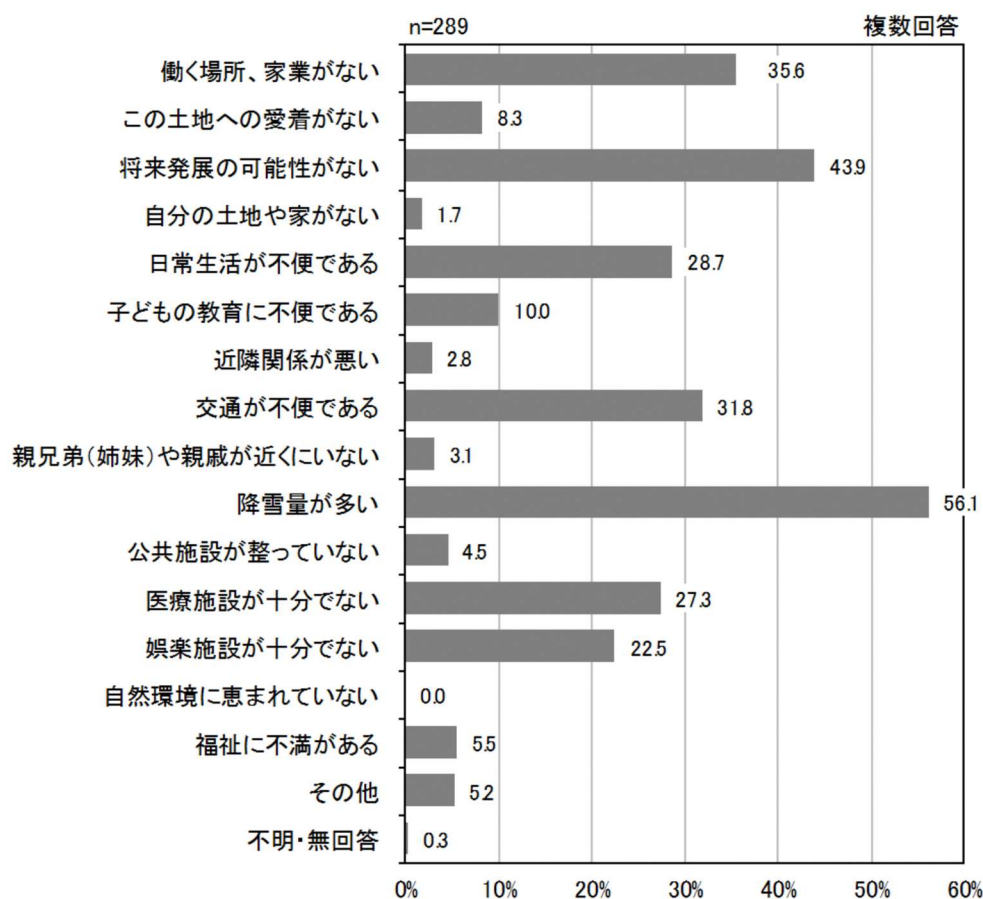
問 7 で「あまり住みよくない」または「住みよくない」を選択した人

問 7 - 2 住みよくないと思う理由は何ですか。(○は3つまで)

住みよくないと思う理由については、全体では、「降雪量が多い」が 56.1%で最も高く、次いで「将来発展の可能性がない」が 43.9%、「働く場所、家業がない」が 35.6%となっています。

年代別にみると、10・20 歳代で「将来発展の可能性がない」「娯楽施設が十分でない」が、30 歳代以上で「降雪量が多い」が最も高くなっています。また、10・20 歳代と 30 歳代で「働く場所、家業がない」「交通が不便である」が、40 歳代で「子どもの教育に不便である」「医療施設が十分でない」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、新郷地区で「日常生活が不便である」が、奥川地区で「交通が不便である」が、それ以外の地区で「降雪量が多い」が最も高くなっています。また、尾野本地区、奥川地区で「働く場所、家業がない」が、奥川地区で「将来発展の可能性がない」が、群岡地区で「医療施設が十分でない」「福祉に不満がある」が、野沢地区、尾野本地区で「娯楽施設が十分でない」が他の地区に比べて高くなっています。



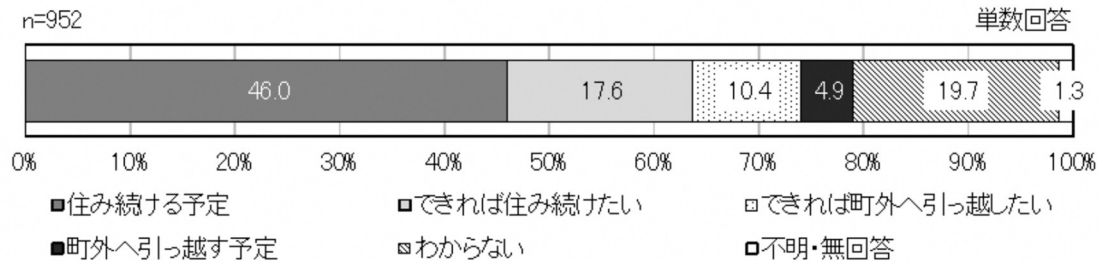
単位: %		n	働く場所、 家業がない	この土地への 愛着がない	将来発展の 可能性がない	自分の土地や 家がない	日常生活が 不便である	子どもの教育に 不便である	近隣関係が 悪い	交通が不便 である	親兄弟(姉妹)や 親戚が近くに いない
全体		289	35.6	8.3	43.9	1.7	28.7	10.0	2.8	31.8	3.1
年代別	10・20 歳代	66	40.9	10.6	43.9	1.5	33.3	6.1	3.0	36.4	-
	30 歳代	64	45.3	9.4	45.3	3.1	25.0	15.6	-	34.4	3.1
	40 歳代	21	38.1	9.5	28.6	4.8	23.8	23.8	-	23.8	-
	50 歳代	40	32.5	12.5	47.5	-	32.5	15.0	5.0	27.5	2.5
	60 歳代	58	32.8	3.4	43.1	-	27.6	5.2	5.2	27.6	6.9
	70 歳以上	40	17.5	5.0	47.5	2.5	27.5	2.5	2.5	35.0	5.0
地区別	野沢地区	100	33.0	12.0	43.0	3.0	19.0	4.0	5.0	29.0	1.0
	尾野本地区	86	43.0	5.8	44.2	1.2	27.9	11.6	2.3	23.3	3.5
	群岡地区	31	19.4	9.7	41.9	-	19.4	16.1	-	32.3	9.7
	新郷地区	40	32.5	7.5	40.0	-	55.0	12.5	2.5	35.0	5.0
	奥川地区	32	43.8	3.1	53.1	3.1	37.5	15.6	-	59.4	-
単位: %		n	降雪量が多い	公共施設が 整っていない	医療施設が 十分でない	娯楽施設が 十分でない	自然環境に 恵まれていない	福祉に不満 がある	その他	不明・無回答	
全体		289	56.1	4.5	27.3	22.5	-	5.5	5.2	0.3	
年代別	10・20 歳代	66	31.8	7.6	13.6	43.9	-	-	4.5	-	
	30 歳代	64	50.0	3.1	32.8	31.3	-	3.1	6.3	-	
	40 歳代	21	66.7	-	42.9	28.6	-	-	9.5	-	
	50 歳代	40	55.0	-	25.0	12.5	-	10.0	5.0	2.5	
	60 歳代	58	72.4	5.2	37.9	6.9	-	10.3	1.7	-	
	70 歳以上	40	77.5	7.5	20.0	2.5	-	10.0	7.5	-	
地区別	野沢地区	100	61.0	3.0	31.0	24.0	-	3.0	4.0	-	
	尾野本地区	86	50.0	7.0	23.3	27.9	-	3.5	9.3	1.2	
	群岡地区	31	71.0	6.5	35.5	12.9	-	22.6	6.5	-	
	新郷地区	40	52.5	2.5	25.0	17.5	-	5.0	-	-	
	奥川地区	32	46.9	3.1	21.9	18.8	-	3.1	3.1	-	

問8 あなたは、今後西会津町に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

今後の居住意向については、全体では、「住み続ける予定」が46.0%で最も高く、次いで「わからない」が19.7%、「できれば住み続けたい」が17.6%となっています。

年代別にみると、10・20歳代で「わからない」が、30歳代以上で「住み続ける予定」が最も高くなっています。また、30歳代、40歳代で「できれば町外へ引っ越したい」が、10・20歳代で「町外へ引っ越す予定」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区でも「住み続ける予定」が最も高くなっています。



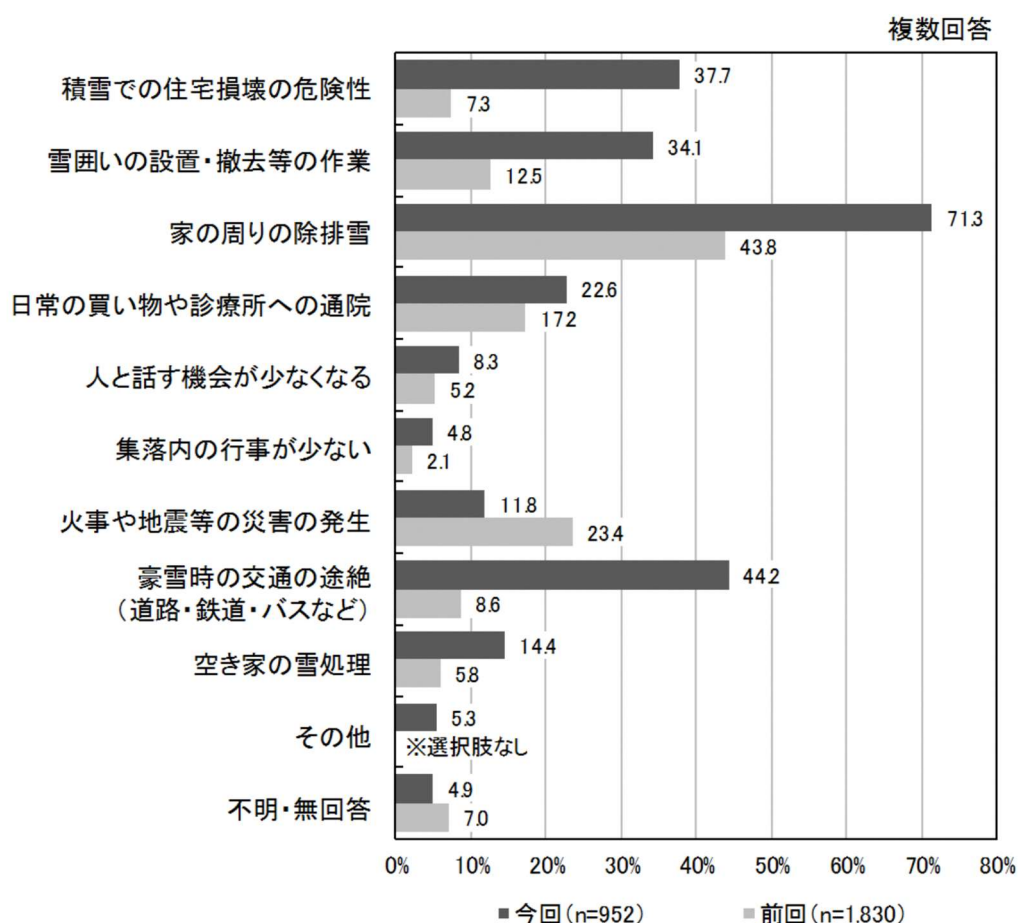
	単位: %	n	住み続ける予定	できれば住み続けたい	できれば町外へ引っ越したい	町外へ引っ越す予定	わからない	不明・無回答
全体		952	46.0	17.6	10.4	4.9	19.7	1.3
年代別	10・20 歳代	203	15.8	15.8	12.3	16.3	38.9	1.0
	30 歳代	163	38.7	19.0	16.0	3.1	22.7	0.6
	40 歳代	61	47.5	14.8	19.7	3.3	14.8	-
	50 歳代	121	53.7	16.5	10.7	2.5	16.5	-
	60 歳代	169	58.0	16.6	9.5	1.2	14.2	0.6
	70 歳以上	228	65.4	21.1	3.1	0.9	7.9	1.8
地区別	野沢地区	342	47.1	13.5	12.6	5.6	20.5	0.9
	尾野本地区	279	45.2	17.6	10.8	6.1	19.7	0.7
	群岡地区	133	53.4	20.3	7.5	1.5	17.3	-
	新郷地区	97	37.1	23.7	10.3	4.1	24.7	-
	奥川地区	93	45.2	24.7	6.5	5.4	15.1	3.2

問9 冬の暮らしの中であなたが困っていることや心配していることはなんですか。（あてはまるものすべてに○）

冬の暮らしの中であなたが困っていることについては、全体では、「家の周りの除排雪」が71.3%で最も高く、次いで「豪雪時の交通の途絶（道路・鉄道・バスなど）」が44.2%、「積雪での住宅損壊の危険性」が37.7%となっています。前回調査と比較すると、「豪雪時の交通の途絶（道路・鉄道・バスなど）」が35.6ポイント、「積雪での住宅損壊の危険性」が30.4ポイント、「家の周りの除排雪」が27.5ポイント、「雪囲いの設置・撤去等の作業」が21.6ポイント増加し、「火事や地震等の災害の発生」が11.6ポイント減少しています。

年代別にみると、いずれの年代でも「家の周りの除排雪」が最も高くなっています。また、60歳代以上では「雪囲いの設置・撤去等の作業」が、70歳以上では「人と話す機会が少なくなる」が、10・20歳代、40歳代では「豪雪時の交通の途絶（道路・鉄道・バスなど）」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区でも「家の周りの除排雪」が最も高くなっています。また、奥川地区では「日常の買い物や診療所への通院」「人と話す機会が少なくなる」が他の地区に比べて高くなっています。



単位: %		n	積雪での住宅損 壊の危険性	雪囲いの設置・撤 去等の作業	家の周りの除排 雪	日常の買い物や 診療所への通院	人と話す機会が 少なくなる	集落内の行事が 少ない
全体		952	37.7	34.1	<u>71.3</u>	22.6	8.3	4.8
年代別	10・20 歳代	203	28.6	21.7	<u>63.5</u>	24.6	4.4	4.4
	30 歳代	163	38.0	30.1	<u>73.0</u>	23.9	5.5	3.1
	40 歳代	61	37.7	29.5	<u>68.9</u>	26.2	6.6	4.9
	50 歳代	121	43.0	35.5	<u>75.2</u>	17.4	5.0	2.5
	60 歳代	169	40.2	42.6	<u>79.3</u>	14.8	8.9	3.6
	70 歳以上	228	42.1	43.4	<u>71.9</u>	27.6	15.4	8.8
地区別	野沢地区	342	38.3	36.3	<u>73.1</u>	20.5	7.3	3.8
	尾野本地区	279	32.3	32.6	<u>69.5</u>	20.1	5.7	6.5
	群岡地区	133	42.9	32.3	<u>76.7</u>	16.5	6.8	3.0
	新郷地区	97	41.2	40.2	<u>69.1</u>	30.9	11.3	4.1
	奥川地区	93	43.0	28.0	<u>68.8</u>	38.7	18.3	7.5
単位: %		n	火事や地震等の 災害の発生	豪雪時の交通の 途絶(道路・鉄道・ バスなど)	空き家の雪処理	その他	不明・無回答	
全体		952	11.8	44.2	14.4	5.3	4.9	
年代別	10・20 歳代	203	10.8	55.7	9.4	5.9	3.4	
	30 歳代	163	19.6	50.3	12.9	9.8	3.7	
	40 歳代	61	3.3	65.6	19.7	8.2	1.6	
	50 歳代	121	12.4	50.4	14.0	4.1	5.0	
	60 歳代	169	10.7	35.5	18.9	3.6	4.7	
	70 歳以上	228	10.1	28.1	15.8	2.6	6.6	
地区別	野沢地区	342	10.2	42.4	12.3	5.8	5.0	
	尾野本地区	279	12.9	43.4	14.3	5.7	6.1	
	群岡地区	133	9.0	45.1	16.5	3.8	2.3	
	新郷地区	97	17.5	47.4	14.4	4.1	1.0	
	奥川地区	93	12.9	50.5	19.4	5.4	5.4	

3. 西会津町の取り組みと今後のまちづくりについて

問 10 次にあげる項目（１）～（２１）の満足度と重要度についておたずねします。

①現在の生活の中でどの程度満足していますか。

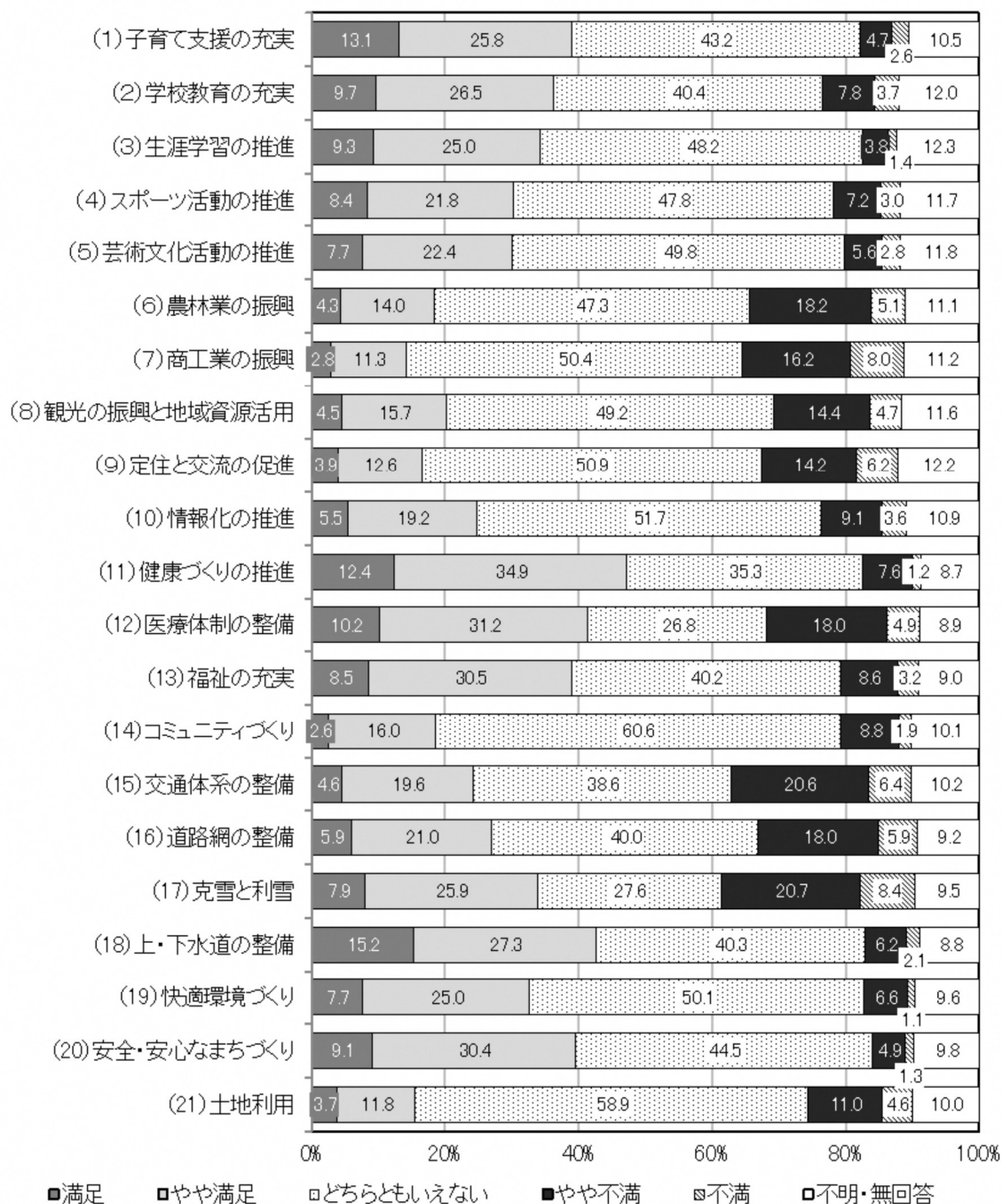
②将来に向け重要だと思いますか。（項目ごとにそれぞれ１つに○）

◇満足度

各項目の満足度については、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足している』は、＜（１１）健康づくりの推進＞が47.3%と最も高く、次いで＜（１８）上・下水道の整備＞が42.5%、＜（１２）医療体制の整備＞が41.4%となっています。

n=952

単数回答

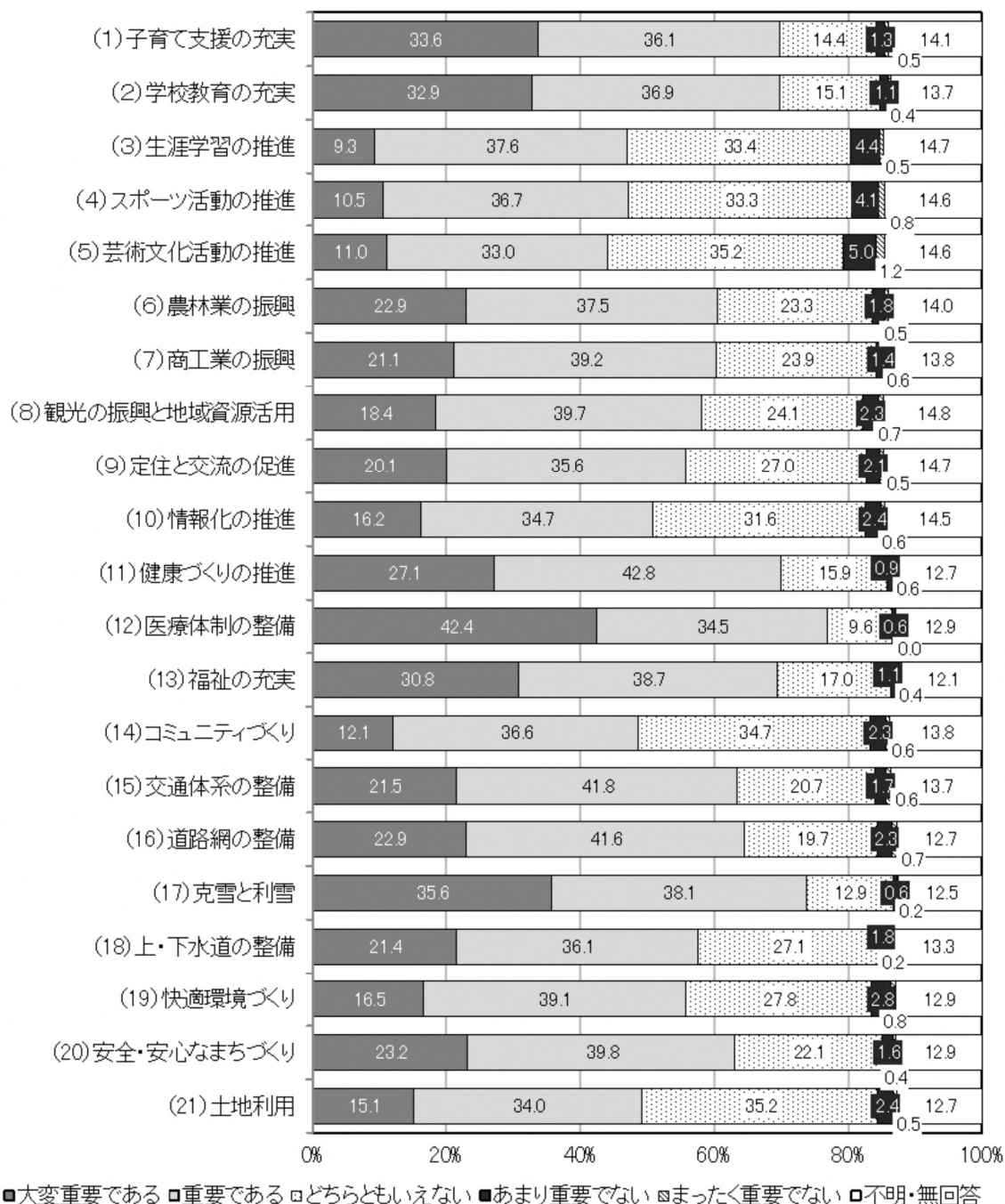


◇重要度

各項目の重要度については、「重要」と「やや重要」を合わせた『重要である』は、〈(12) 医療体制の整備〉が76.9%と最も高く、次いで〈(17) 克雪と利雪〉が73.7%、〈(11) 健康づくりの推進〉が69.9%、〈(2) 学校教育の充実〉が69.8%、〈(1) 子育て支援の充実〉が69.7%となっています。

n=952

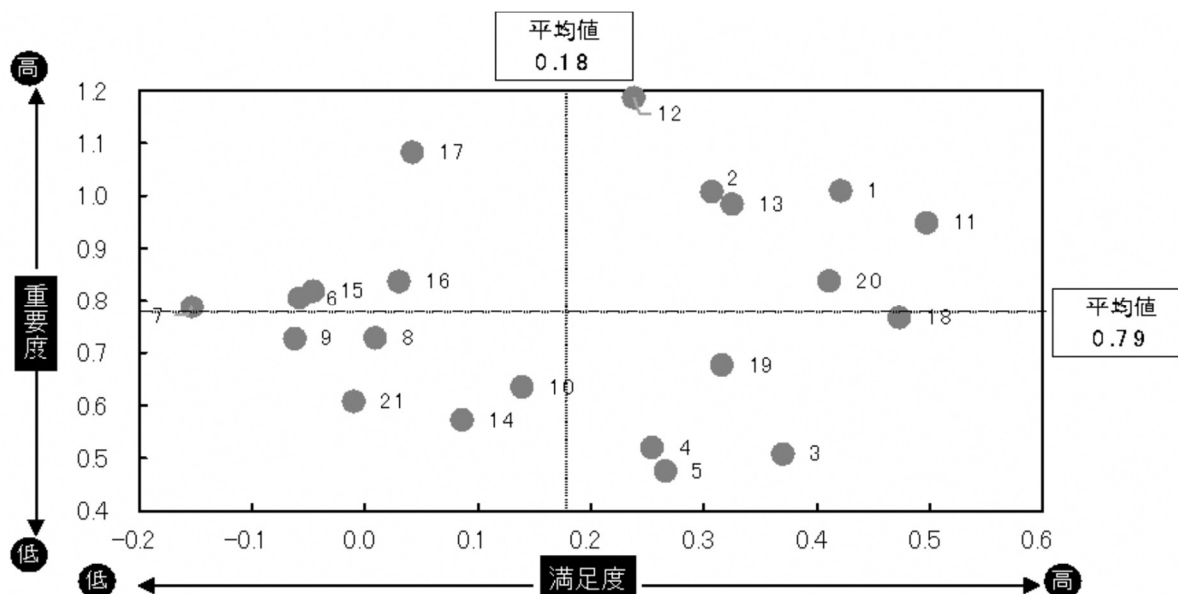
単数回答



◇満足度・重要度の点数化

各組の満足度・重要度を以下の考え方に基づいて、それぞれの回答の割合にかけ合わせて点数化しました。

「満足」＝2点 「やや満足」＝1点 「どちらともいえない」＝0点 「やや不満」＝-1点 「不満」＝-2点	「大変重要である」＝2点 「重要である」＝1点 「どちらともいえない」＝0点 「あまり重要でない」＝-1点 「まったく重要でない」＝-2点
--	---



	満足度	重要度		満足度	重要度
(1)子育て支援の充実	0.42	1.01	(12)医療体制の整備	0.24	1.19
(2)学校教育の充実	0.31	1.01	(13)福祉の充実	0.33	0.98
(3)生涯学習の推進	0.37	0.51	(14)コミュニティづくり	0.09	0.57
(4)スポーツ活動の推進	0.25	0.52	(15)交通体系の整備	-0.05	0.82
(5)芸術文化活動の推進	0.27	0.48	(16)道路網の整備	0.03	0.84
(6)農林業の振興	-0.06	0.81	(17)克雪と利雪	0.04	1.08
(7)商工業の振興	-0.15	0.79	(18)上・下水道の整備	0.47	0.77
(8)観光の振興と地域資源活用	0.01	0.73	(19)快適環境づくり	0.32	0.68
(9)定住と交流の促進	-0.06	0.73	(20)安全・安心なまちづくり	0.41	0.84
(10)情報化の推進	0.14	0.64	(21)土地利用	-0.01	0.61
(11)健康づくりの推進	0.50	0.95			

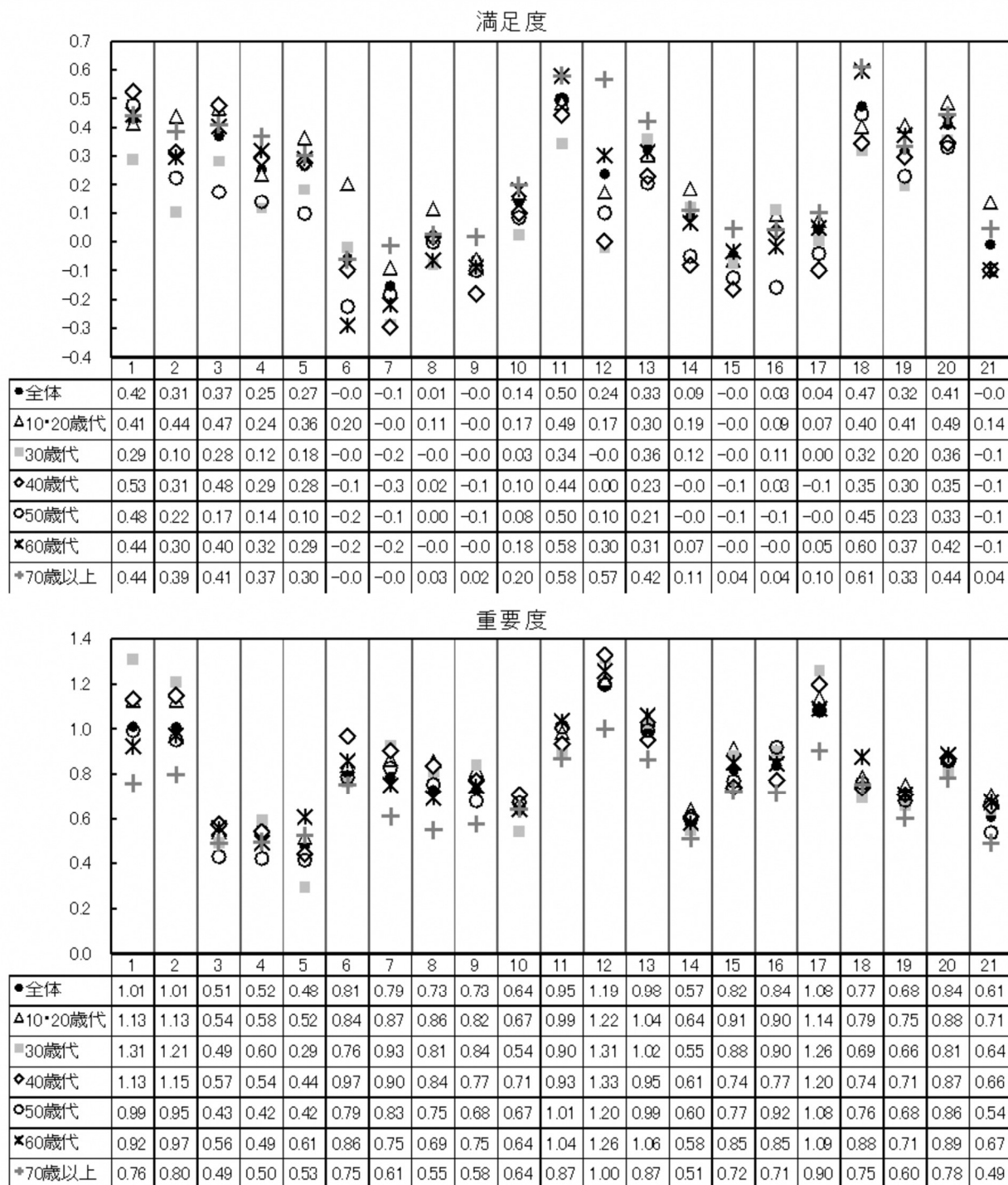
また、散布図のそれぞれの事象は以下のように捉えることができます。

満足度：低 重要度：高 ⇒改善策を検討・実施すべき施策	満足度：高 重要度：高 ⇒現在すでにある程度満足しているが、今後とも引き続き重要度が高い施策
満足度：低 重要度：低 ⇒事業展開の周知や関心度の引き上げを検討すべき施策	満足度：高 重要度：低 ⇒施策自体の効果・効率を検討すべき施策

◇満足度・重要度の点数化（年齢別）

年齢別の各項目の満足度については、〈〈6〉 農林業の振興〉〈〈8〉 観光の振興と地域資源活用〉で10・20歳代が、〈〈18〉 上・下水道の整備〉〈〈11〉 健康づくりの推進〉で60歳代以上が、〈〈12〉 医療体制の整備〉で70歳代以上が高くなっています。

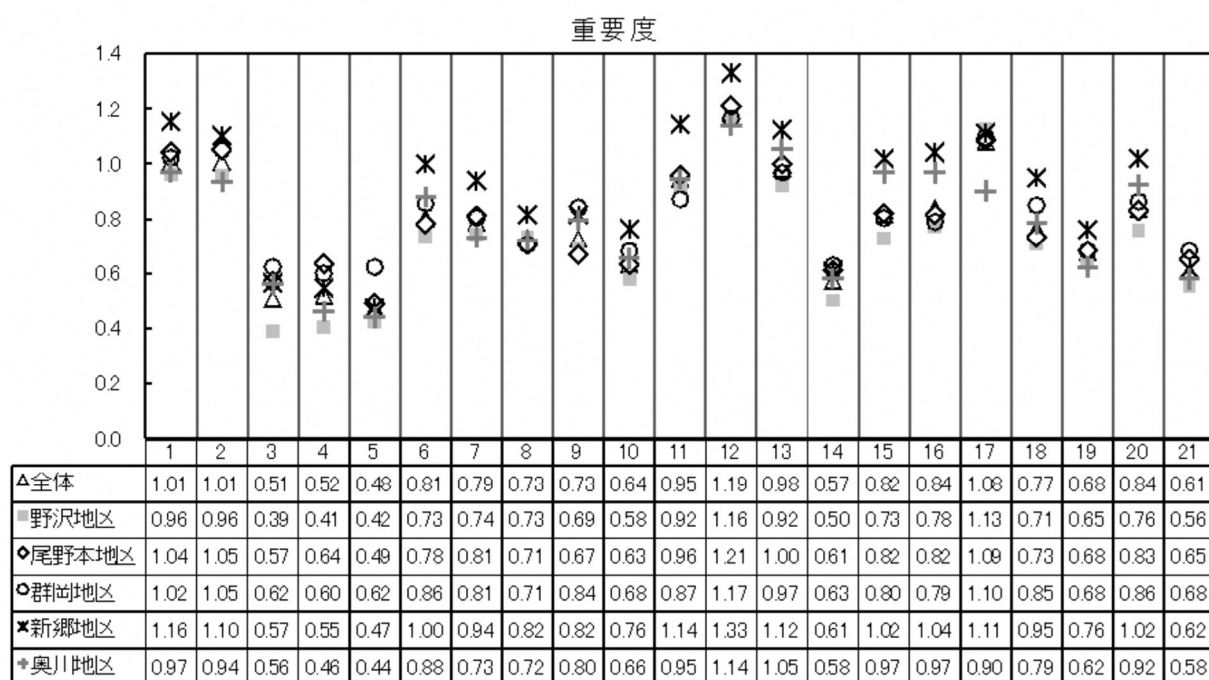
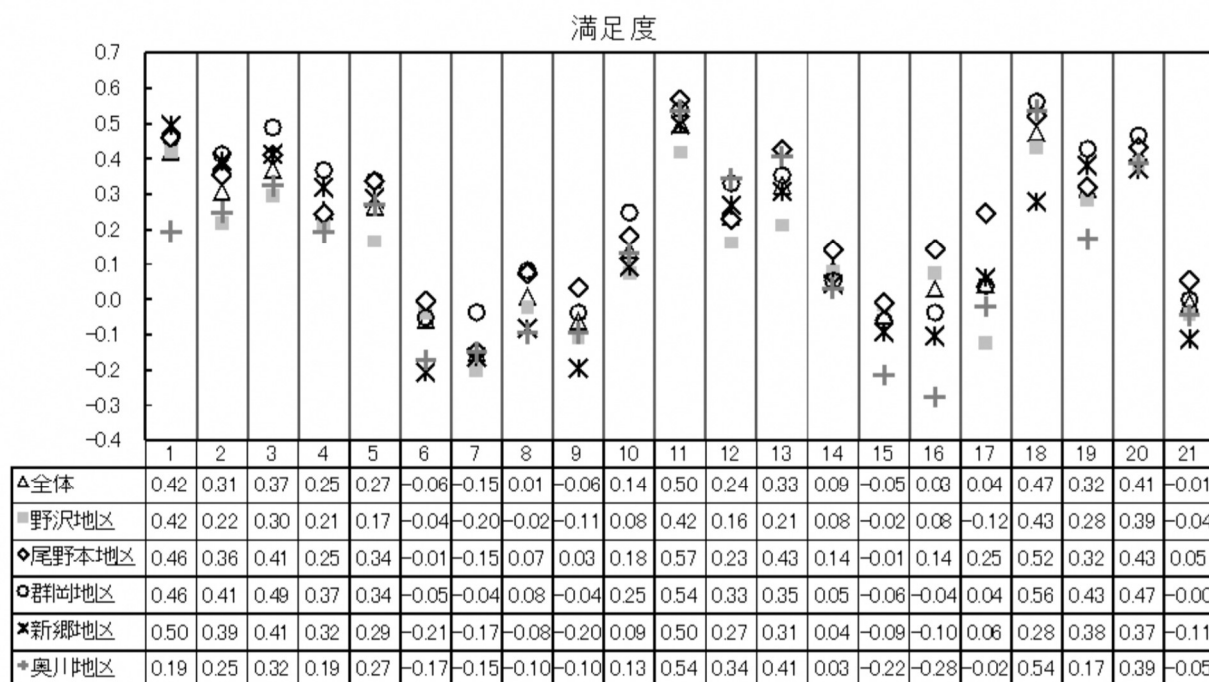
年齢別の各項目の重要度については、〈〈1〉 子育て支援の充実〉で30歳代が高くなっています。



◇満足度・重要度の点数化（地区別）

地区別の各項目の満足度については、〈〈1〉子育て支援の充実〉〈〈15〉交通体系の整備〉〈〈16〉道路網の整備〉〈〈19〉快適環境づくり〉で奥川地区が、〈〈18〉上・下水道の整備〉〈〈9〉定住と交流の促進〉では新郷地区が低くなっています。また、〈〈17〉克雪と利雪〉で尾野本地区が高く、野沢地区が低くなっています。

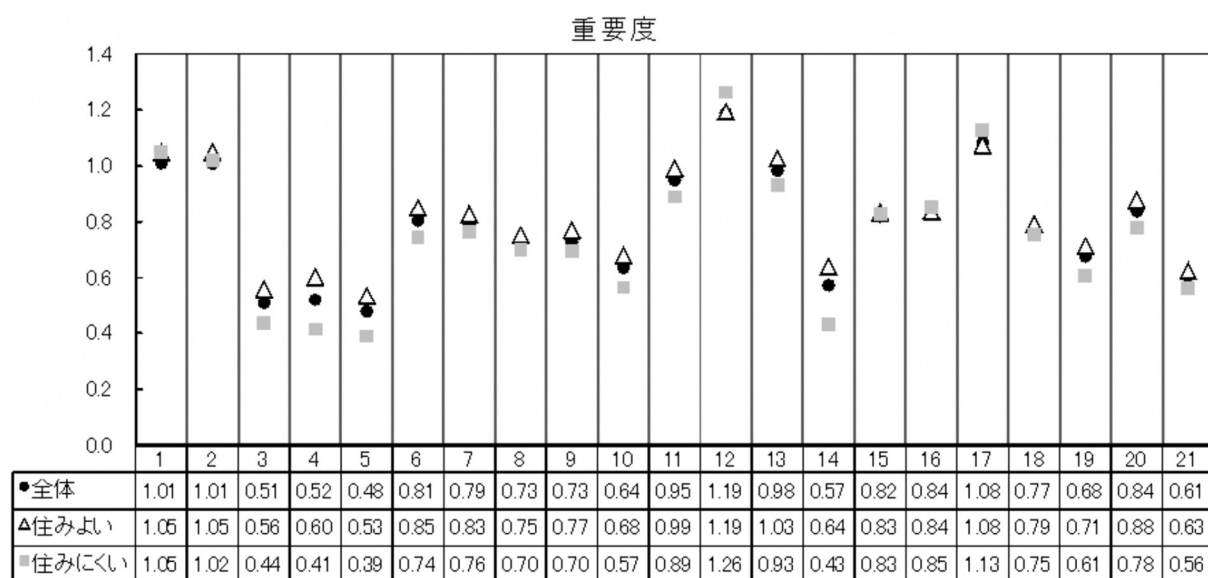
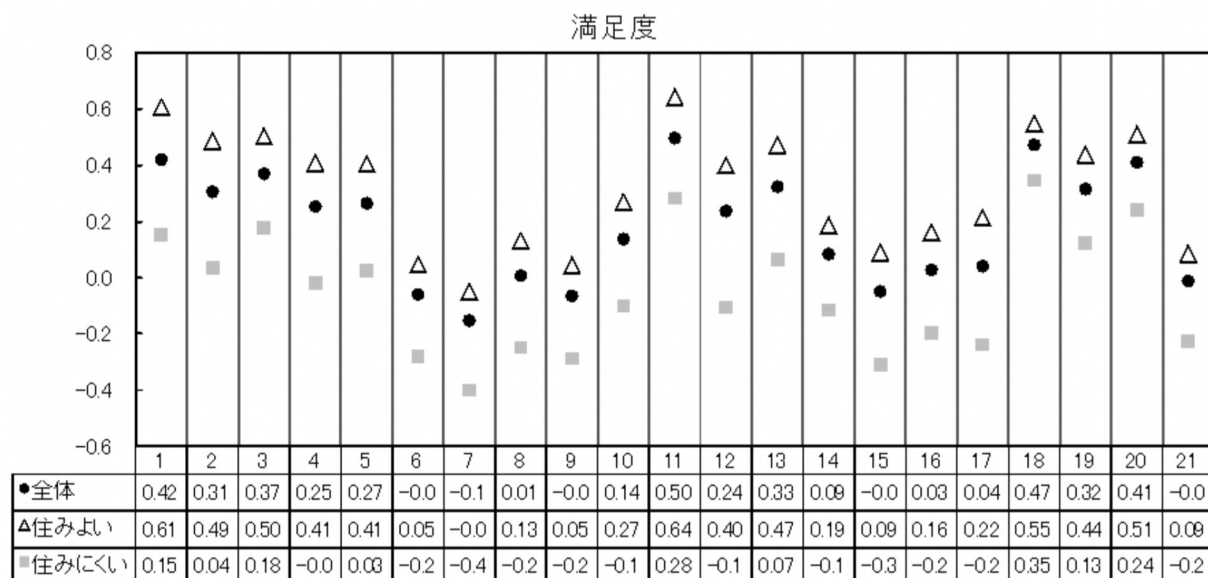
地区別の各項目の重要度については、全体的に新郷地区で高い傾向があります。



◇満足度・重要度の点数化（住みよさ別）

住みよさ別の各項目の満足度については、住みよく感じている人が住みにくいと感じている人を上回っていますが、特に〈(12) 医療体制の整備〉〈(1) 子育て支援の充実〉〈(2) 学校教育の充実〉〈(17) 克雪と利雪〉で差が大きくなっています。

住みよさ別の各項目の重要度については、概ね同様の傾向となっています。

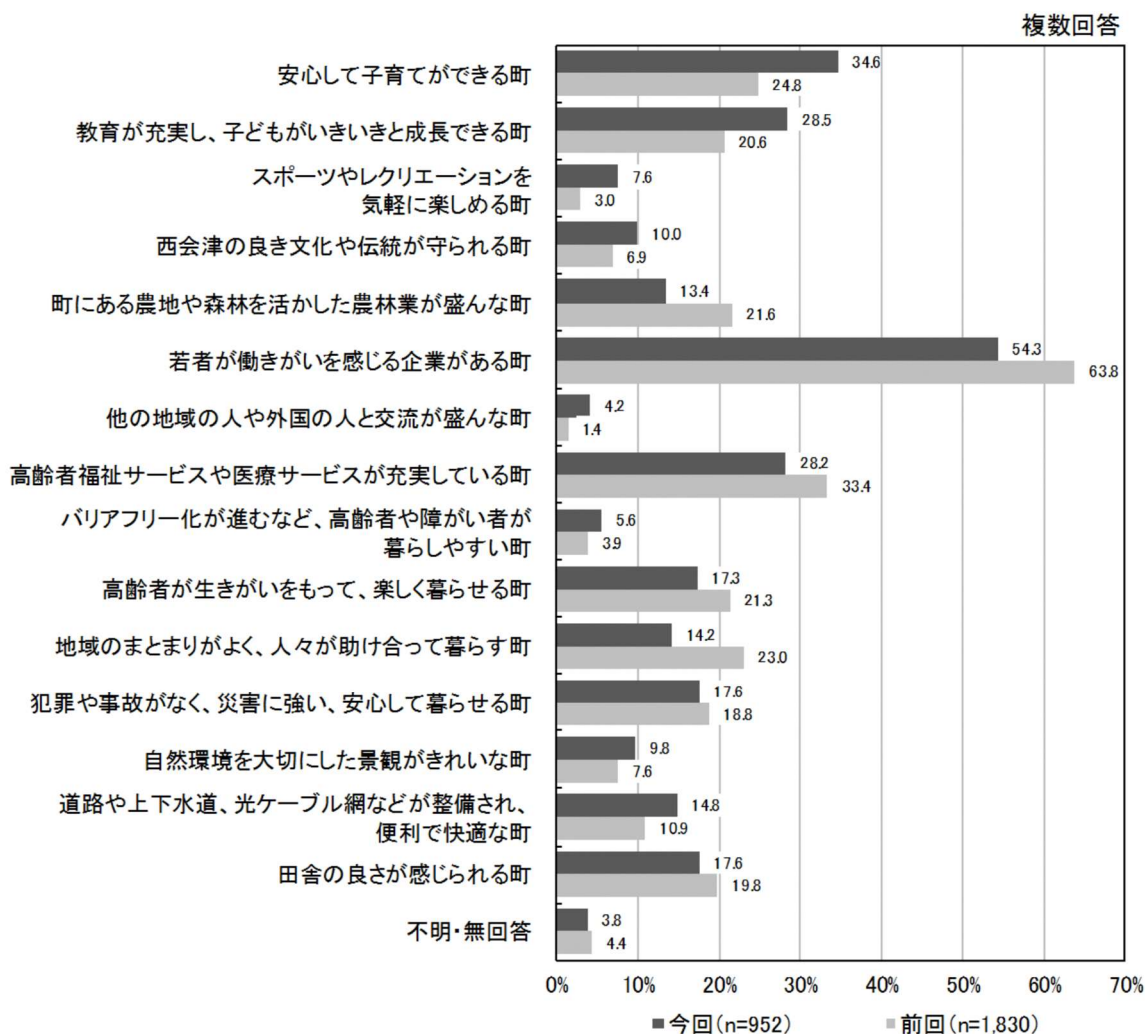


問 11 西会津町を将来どのような町にすべきだと思いますか。(〇は3つまで)

西会津町を将来どのような町にすべきかについては、全体では、「若者が働きがいを感じる企業がある町」が54.3%で最も高く、次いで「安心して子育てができる町」が34.6%、「教育が充実し、子どもがいきいきと成長できる町」が28.5%となっています。前回調査と比較すると、「安心して子育てができる町」が9.8ポイント、「教育が充実し、子どもがいきいきと成長できる町」が7.9ポイント増加し、「若者が働きがいを感じる企業がある町」が9.5ポイント、「地域のまとまりがよく、人々が助け合って暮らす町」が8.8ポイント、「町にある農地や森林を活かした農林業が盛んな町」が8.2ポイント、「高齢者福祉サービスや医療サービスが充実している町」が5.2ポイント減少しています。

年代別にみると、いずれの年代でも「若者が働きがいを感じる企業がある町」が最も高くなっています。また、30歳代では「安心して子育てができる町」「教育が充実し、子どもがいきいきと成長できる町」が、10・20歳代では「西会津の良き文化や伝統が守られる町」が、70歳以上では「高齢者福祉サービスや医療サービスが充実している町」が、60歳代以上では「高齢者が生きがいをもって、楽しく暮らせる町」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区でも「若者が働きがいを感じる企業がある町」が最も高くなっています。また、新郷地区、奥川地区では「町にある農地や森林を活かした農林業が盛んな町」が、新郷地区では「道路や上下水道、光ケーブル網などが整備され、便利で快適な町」が他の地区に比べて高くなっています。



単位 : %		n	安心して子育てができる町	教育が充実し、子どもがいきいきと成長できる町	スポーツやレクリエーションを気軽に楽しめる町	西会津の良き文化や伝統が守られる町	町にある農地や森林を活かした農業が盛んな町	若者が働きたいと感じる企業がある町	他の地域の人や外国の人と交流が盛んな町	高齢者福祉サービスや医療サービスが充実している町
全体		952	34.6	28.5	7.6	10.0	13.4	54.3	4.2	28.2
年代別	10・20 歳代	203	37.9	30.0	10.3	16.3	7.4	47.3	11.3	16.7
	30 歳代	163	52.8	44.8	7.4	5.5	8.6	60.1	4.3	11.7
	40 歳代	61	34.4	31.1	11.5	9.8	9.8	63.9	3.3	24.6
	50 歳代	121	31.4	25.6	7.4	7.4	16.5	66.1	2.5	34.7
	60 歳代	169	26.6	26.0	3.6	8.9	20.7	50.9	1.8	34.9
	70 歳以上	228	26.8	18.4	7.0	10.1	16.2	50.4	0.9	41.7
地区別	野沢地区	342	37.1	29.5	8.2	11.7	9.1	57.0	4.1	26.6
	尾野本地区	279	35.1	29.7	7.5	9.7	14.3	50.9	5.7	26.2
	群岡地区	133	30.8	29.3	6.8	12.0	12.0	51.1	0.8	29.3
	新郷地区	97	37.1	28.9	4.1	7.2	20.6	67.0	6.2	33.0
	奥川地区	93	28.0	20.4	9.7	5.4	20.4	48.4	2.2	31.2
単位 : %		n	バリアフリー化が進むなど、高齢者や障がい者が暮らしやすい町	高齢者が生きがいをもって、楽しく暮らせる町	地域のまとまりがよく、人々が助け合って暮らす町	犯罪や事故がなく、災害に強い、安心して暮らせる町	自然環境を大切にした景観がきれいな町	道路や上下水道、光ケーブル網などが整備され、便利で快適な町	田舎の良さが感じられる町	不明・無回答
全体		952	5.6	17.3	14.2	17.6	9.8	14.8	17.6	3.8
年代別	10・20 歳代	203	7.9	13.8	11.8	12.3	13.3	16.3	17.7	1.5
	30 歳代	163	4.3	8.0	12.3	17.8	8.0	24.5	11.0	3.7
	40 歳代	61	6.6	9.8	13.1	16.4	14.8	18.0	16.4	4.9
	50 歳代	121	3.3	9.9	12.4	24.0	6.6	19.8	14.9	3.3
	60 歳代	169	4.1	20.1	17.8	23.1	10.7	8.3	21.3	4.1
	70 歳以上	228	6.6	30.7	16.7	15.8	7.9	8.3	21.9	4.8
地区別	野沢地区	342	6.7	14.9	12.0	16.7	11.4	14.9	16.7	2.6
	尾野本地区	279	5.7	19.4	15.4	19.7	11.1	14.0	16.5	3.6
	群岡地区	133	6.0	21.8	13.5	20.3	6.0	13.5	19.5	6.0
	新郷地区	97	3.1	14.4	13.4	17.5	5.2	20.6	17.5	-
	奥川地区	93	3.2	16.1	21.5	11.8	10.8	14.0	23.7	6.5

問 12 西会津町で、あなたが大切にしたいものや残しておきたいもの、誇れるもの、よそに自慢できるものは何ですか。(自由回答)

回答内容と件数は以下の通りです。

◇自然環境（123 件）

自然の豊かさ／田舎の風景／飯豊山／高陽山／四季折々の姿が一番きれいな町／化け桜／河川の水が清らかなところ／阿賀川のある風景／夜空がきれいなこと

◇歴史・文化（72 件）

祭り／宿場町としての歴史／各地域による伝統文化の継承／史上の人物（明治の偉人）／仏閣（大山祇神社、鳥追観音、円満寺観音堂、如法寺）／一里塚、石碑など／旧尾野本小学校講堂／旧新郷小学校に保管してある縄文土器や火焰土器、その他土器類／民話、大山小唄、野沢小唄

◇食材・食事（66 件）

米／ミネラル野菜／ラーメン／山菜／菌床栽培キノコ（シイタケ・キクラゲ）／車麩／菓子竹さん（文化焼き、駄菓子）／清水屋さんのいちご大福／昔からあるラーメン屋、お菓子屋、パン屋などのお店／地元の飲食店は地元の方が経営しているところが多い、地元産の物を使用していること／各農家が作った野菜を店や学校給食に提供し、おいしく食べられる

◇人、人情など（65 件）

お互い様という気持ち／人と人とのつながり／家族や地域がしっかりしている／人間があたたかい／優しい人間性豊かな人が多い／移住者の受け入れに一定の理解がある／芸術村での取り組み、魅力的な人が集まっている／楽しい人が多い／ふれあいや助け合い／子どもが素直／アイデアを出しあって、西会津町をよりよい町にしていこうと行動している／地元で町を元気づけようと頑張っている若者世代や地元住民たちが居ること／町民がまとまっており、まじめ、優しい、責任感があるところ。

◇施設・インフラ（46 件）

高速のインターがある／デマンドバス／よりっせ（道の駅）／さゆり公園（スポーツ施設）／国際芸術村／図書館

◇教育・子育て環境（26 件）

子育て環境が充実／教育施設（中学校、小学校、こども園）／ICT教育

◇街並み・景観（12 件）

豊かな町並み／地域の景観／群岡地区の「イザベラ・バード」「銚子の口」／歩く所にゴミが落ちていない

◇医療・健康・福祉（10 件）

高齢者・子育ての福祉サービスが充実／医療サービスが充実／健康づくり及び医療体制が充実／健康づくりに取り組んでいる／子どものインフルエンザの予防接種

◇情報技術など（7件）

ケーブルテレビを通じて情報が常に共有できる／光ケーブルがある

◇イベント（11件）

各集落の昔ながらの行事／奥川健康マラソン／雪国まつり／スポーツ大会の開催が多い／ふるさと祭り／西会津なつかし car ショー

◇その他（16件）

除雪のうまさ／方言／こゆりちゃん／災害の少ない町／巫神デナー／犯罪が少ない／SL が通る／沖縄県大宜味村との交流をしている／田舎っぽさ／のどかでせこせこしていない

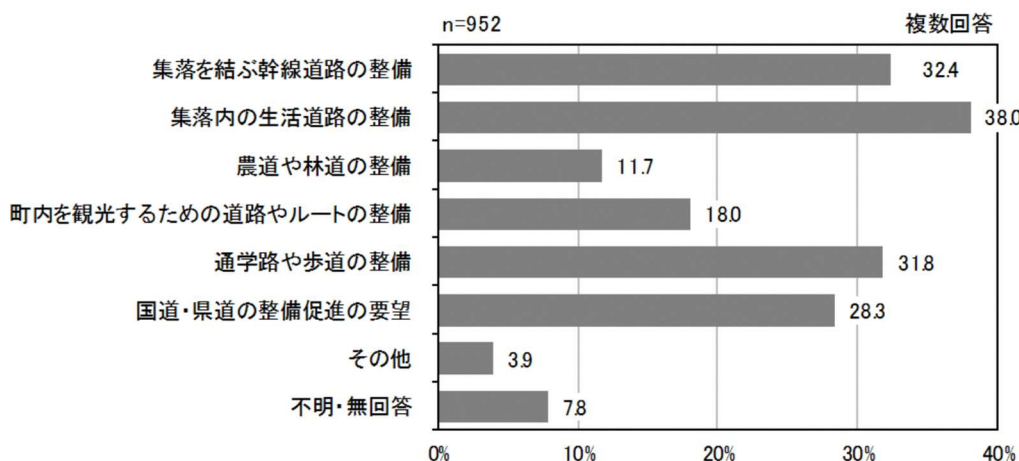
◇特にない（8件）

問 13 道路網や交通の整備について、どのような点に重点をおいたら良いと思いますか。(○は2つまで)

道路網や交通の整備で重点を置くべきと思うことについては、全体では、「集落内の生活道路の整備」が38.0%で最も高く、次いで「集落を結ぶ幹線道路の整備」が32.4%、「通学路や歩道の整備」が31.8%となっています。

年代別にみると、40歳代以下で「通学路や歩道の整備」が、50歳代以上で「集落内の生活道路の整備」が最も高くなっています。また、70歳以上では「農道や林道の整備」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、野沢地区、尾野本地区で「通学路や歩道の整備」が、群岡地区では「集落内の生活道路の整備」が、新郷地区、奥川地区では「集落を結ぶ幹線道路の整備」が最も高くなっている。また、新郷地区、奥川地区では「国道・県道の整備促進の要望」が他の地区に比べて高くなっています。



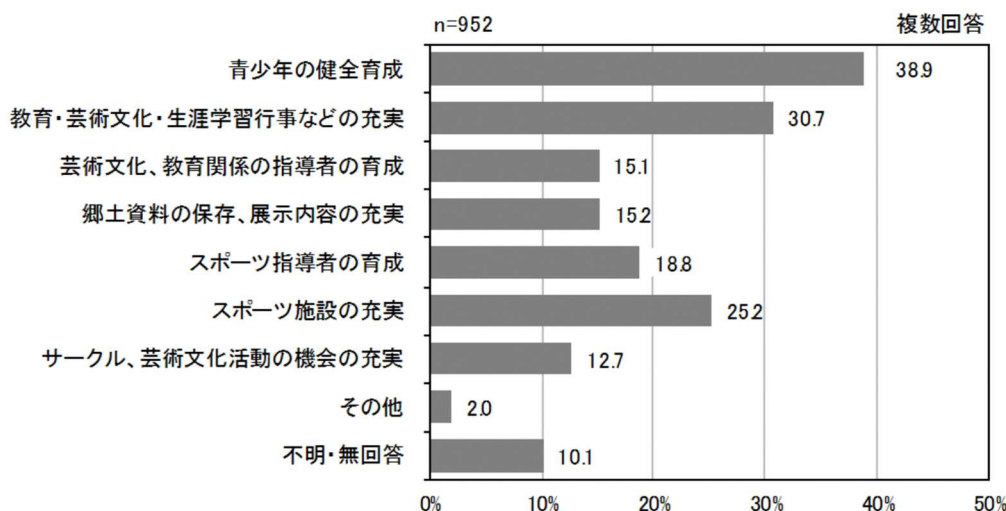
単位: %		n	集落を結ぶ 幹線道路の 整備	集落内の生 活道路の整 備	農道や林道 の整備	町内を観光 するための 道路やルー トの整備	通学路や歩 道の整備	国道・県道 の整備促進 の要望	その他	不明・無回 答
全体		952	32.4	38.0	11.7	18.0	31.8	28.3	3.9	7.8
年代別	10・20歳代	203	29.1	31.5	7.4	16.3	42.9	28.6	5.4	4.9
	30歳代	163	31.9	32.5	6.1	18.4	43.6	25.2	3.1	8.0
	40歳代	61	32.8	32.8	3.3	16.4	34.4	36.1	1.6	4.9
	50歳代	121	35.5	35.5	9.9	19.8	32.2	33.1	5.0	5.0
	60歳代	169	36.1	44.4	11.8	20.1	26.0	30.8	4.1	4.7
	70歳以上	228	30.7	46.5	21.9	17.1	17.1	23.7	3.1	14.0
地区別	野沢地区	342	26.6	36.8	7.9	19.6	44.4	23.4	2.0	7.3
	尾野本地区	279	30.8	33.7	12.9	18.6	35.1	25.4	5.4	9.3
	群岡地区	133	29.3	45.1	14.3	20.3	21.1	32.3	4.5	6.0
	新郷地区	97	45.4	40.2	14.4	13.4	12.4	40.2	4.1	5.2
	奥川地区	93	48.4	44.1	14.0	11.8	11.8	36.6	5.4	8.6

問 14 教育・文化・余暇・スポーツの面で、どのような点に重点をおいたら良いと思いますか。(○は2つまで)

教育・文化・余暇・スポーツの面で重点を置くべきと思うことについては、全体では、「青少年の健全育成」が38.9%で最も高く、次いで「教育・芸術文化・生涯学習行事などの充実」が30.7%、「スポーツ施設の充実」が25.2%となっています。

年代別にみると、10・20歳代で「スポーツ施設の充実」が、30歳代以上で「青少年の健全育成」が最も高くなっています。また、60歳代以上では「郷土資料の保存、展示内容の充実」が、60歳代では「サークル、芸術文化活動の機会の充実」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、新郷地区で「教育・芸術文化・生涯学習行事などの充実」が、それ以外の地区で「青少年の健全育成」が最も高くなっています。また、奥川地区では「芸術文化、教育関係の指導者の育成」が、新郷地区、奥川地区では「郷土資料の保存、展示内容の充実」が他の地区に比べて高くなっています。



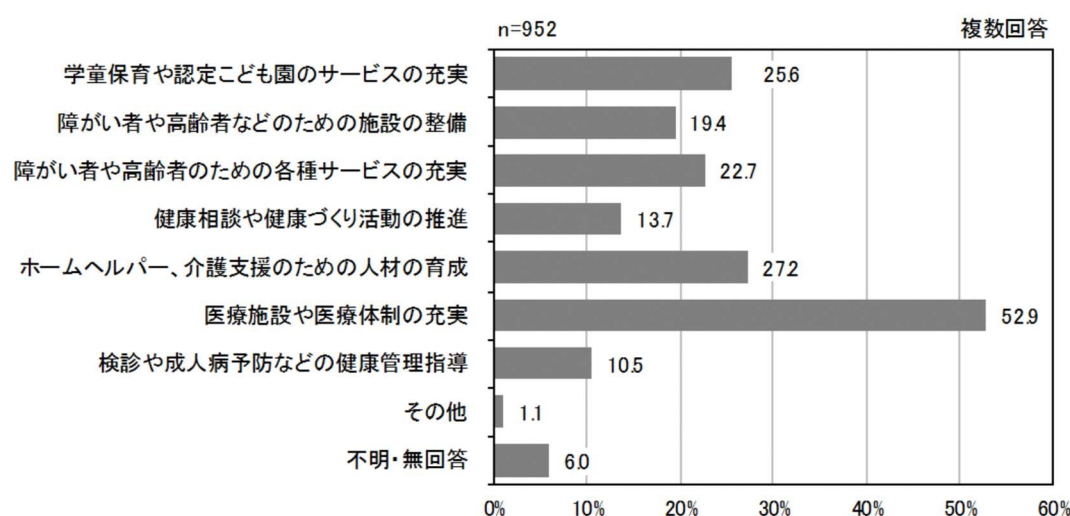
		n	青少年の健全育成	教育・芸術文化・生涯学習行事などの充実	芸術文化、教育関係の指導者の育成	郷土資料の保存、展示内容の充実	スポーツ指導者の育成	スポーツ施設の充実	サークル、芸術文化活動の機会の充実	その他	不明・無回答
単位: %											
全体		952	38.9	30.7	15.1	15.2	18.8	25.2	12.7	2.0	10.1
年代別	10・20歳代	203	36.9	33.5	15.3	9.4	19.2	37.4	11.8	2.5	3.0
	30歳代	163	37.4	26.4	14.1	11.0	22.1	33.1	8.0	4.3	8.6
	40歳代	61	42.6	21.3	18.0	8.2	19.7	27.9	11.5	1.6	9.8
	50歳代	121	35.5	31.4	12.4	13.2	18.2	31.4	15.7	1.7	9.1
	60歳代	169	39.1	30.8	16.6	20.1	20.7	16.0	20.1	0.6	8.9
	70歳以上	228	41.7	34.2	15.4	23.2	14.5	12.3	10.5	1.3	18.0
地区別	野沢地区	342	44.2	28.4	15.5	11.1	18.7	28.1	13.7	1.8	7.0
	尾野本地区	279	37.6	28.7	14.0	14.3	20.4	26.2	13.3	2.9	10.8
	群岡地区	133	39.1	33.8	15.8	17.3	19.5	21.1	12.0	2.3	9.8
	新郷地区	97	30.9	45.4	10.3	23.7	11.3	25.8	11.3	1.0	7.2
	奥川地区	93	31.2	26.9	22.6	22.6	20.4	19.4	9.7	1.1	19.4

問 15 福祉や健康の面で、どのような点に重点をおいたら良いと思いますか。（○は2つまで）

福祉や健康の面で重点を置くべきと思うことについては、全体では、「医療施設や医療体制の充実」が52.9%で最も高く、次いで「ホームヘルパー、介護支援のための人材の育成」が27.2%、「学童保育や認定こども園のサービスの充実」が25.6%となっています。

年代別にみると、30歳代で「学童保育や認定こども園のサービスの充実」が、それ以外の年代で「医療施設や医療体制の充実」が最も高くなっています。また、50歳代、70歳以上では「障がい者や高齢者などのための施設の整備」が、60歳代以上では「ホームヘルパー、介護支援のための人材の育成」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区でも「医療施設や医療体制の充実」が最も高くなっています。また、新郷地区では「ホームヘルパー、介護支援のための人材の育成」が他の地区に比べて高くなっています。



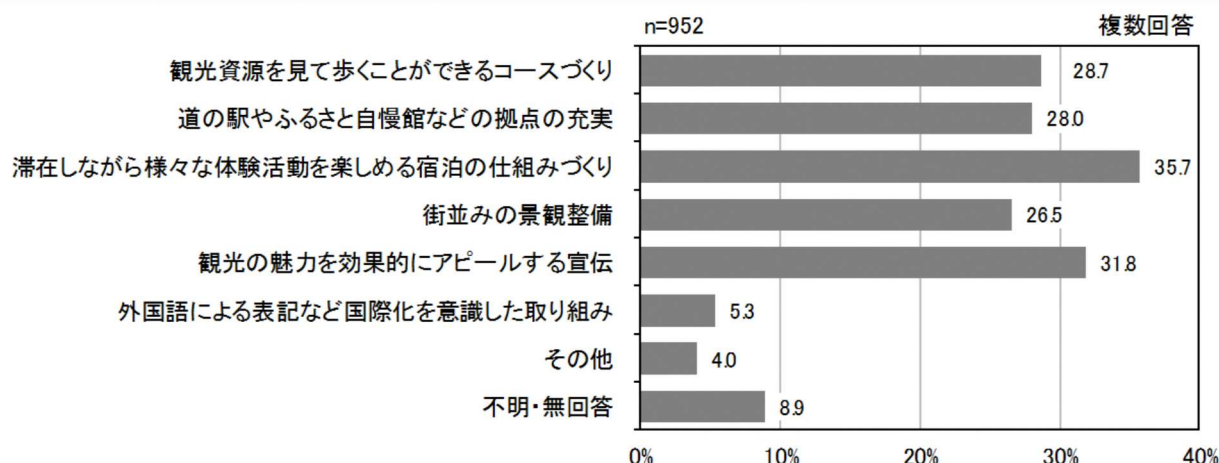
		n	学童保育 や認定こども 園のサービス の充実	障がい者 や高齢者 などのための 施設の整備	障がい者 や高齢者 のための 各種サービス の充実	健康相談 や健康づくり 活動の推進	ホームヘル パー、介護 支援のため の人の育成	医療施設 や医療体制 の充実	検診や成人 病予防など の健康管理 指導	その他	不明・無回 答
単位: %											
全体		952	25.6	19.4	22.7	13.7	27.2	52.9	10.5	1.1	6.0
年代別	10・20歳代	203	36.9	14.3	17.2	15.8	24.6	53.2	7.9	2.5	3.0
	30歳代	163	52.8	16.0	14.7	8.6	20.2	49.1	11.7	1.8	4.9
	40歳代	61	24.6	18.0	27.9	13.1	23.0	59.0	6.6	-	6.6
	50歳代	121	19.8	24.0	28.1	11.6	26.4	55.4	8.3	-	5.0
	60歳代	169	13.6	17.2	24.9	14.8	33.7	53.8	14.8	0.6	5.9
	70歳以上	228	9.2	25.4	27.2	15.8	32.0	52.6	11.0	0.4	9.2
地区別	野沢地区	342	26.0	20.2	25.7	12.6	27.5	53.2	10.2	1.5	5.0
	尾野本地区	279	29.4	16.5	20.8	12.2	24.4	52.7	11.1	1.1	6.8
	群岡地区	133	24.1	18.0	22.6	15.0	27.1	56.4	9.8	0.8	5.3
	新郷地区	97	22.7	20.6	19.6	17.5	34.0	56.7	8.2	-	3.1
	奥川地区	93	20.4	24.7	19.4	17.2	30.1	46.2	12.9	1.1	8.6

問 16 観光地としての魅力を高めていくためには、どのような点に重点をおいたら良いと思いますか。（○は2つまで）

観光地としての魅力を高めていく面で重点を置くべきと思うことについては、全体では、「滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり」が 35.7%で最も高く、次いで「観光の魅力を効果的にアピールする宣伝」が 31.8%、「観光資源を見て歩くことができるコースづくり」が 28.7%となっています。

年代別にみると、30 歳代以下、60 歳代で「滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり」が、40 歳代で「道の駅やふるさと自慢館などの拠点の充実」「滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり」が、50 歳代、70 歳以上で「観光の魅力を効果的にアピールする宣伝」が最も高くなっています。また、60 歳代以上では「観光資源を見て歩くことができるコースづくり」が、30 歳代以下では「街並みの景観整備」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、野沢地区、尾野本地区、奥川地区で「滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり」が、群岡地区で「観光の魅力を効果的にアピールする宣伝」が、新郷地区で「道の駅やふるさと自慢館などの拠点の充実」「滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり」が最も高くなっています。また、野沢地区、尾野本地区では「街並みの景観整備」が他の地区に比べて高くなっています。



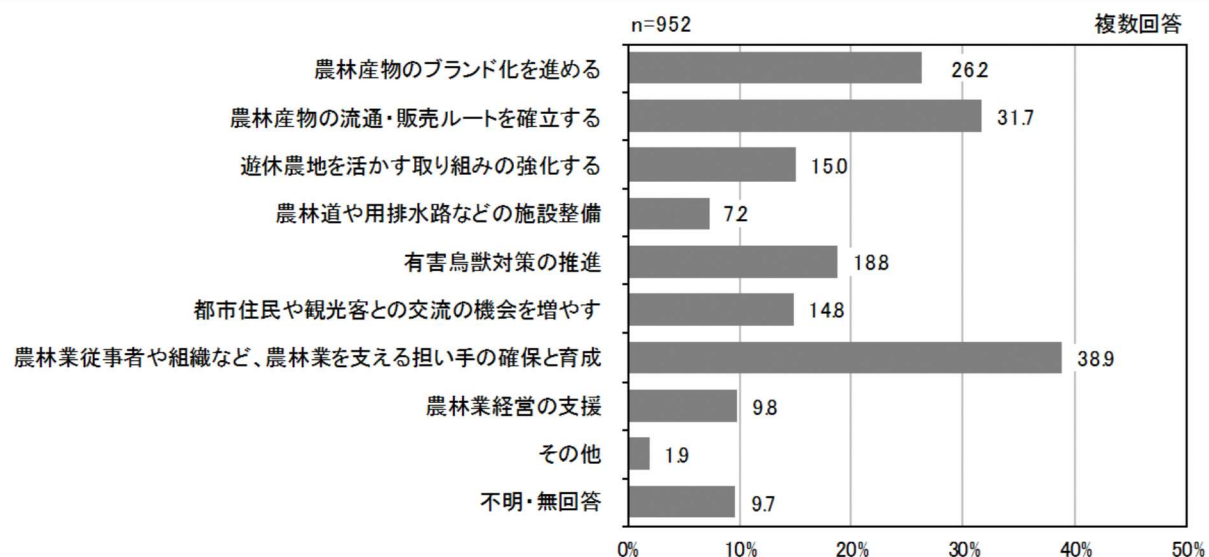
単位: %		n	観光資源を見て歩くことができるコースづくり	道の駅やふるさと自慢館などの拠点の充実	滞在しながら様々な体験活動を楽しめる宿泊の仕組みづくり	街並みの景観整備	観光の魅力を効果的にアピールする宣伝	外国語による表記など国際化を意識した取り組み	その他	不明・無回答
全体		952	28.7	28.0	35.7	26.5	31.8	5.3	4.0	8.9
年代別	10・20 歳代	203	18.7	30.0	42.4	36.9	26.6	9.4	5.9	3.4
	30 歳代	163	20.2	36.2	37.4	32.5	27.6	3.7	6.1	7.4
	40 歳代	61	21.3	34.4	34.4	27.9	23.0	3.3	3.3	8.2
	50 歳代	121	28.9	24.0	32.2	22.3	37.2	8.3	2.5	9.9
	60 歳代	169	34.9	21.9	37.3	21.9	33.1	4.1	3.0	8.3
	70 歳以上	228	41.2	25.9	30.3	18.0	38.6	2.2	2.6	14.0
地区別	野沢地区	342	26.9	26.0	37.1	30.4	32.7	5.6	3.8	7.6
	尾野本地区	279	27.2	29.0	36.2	28.7	28.0	6.5	3.9	9.0
	群岡地区	133	33.8	33.8	26.3	18.8	41.4	1.5	4.5	9.8
	新郷地区	97	32.0	34.0	34.0	21.6	28.9	6.2	6.2	4.1
	奥川地区	93	30.1	20.4	45.2	22.6	31.2	3.2	2.2	14.0

問 17 農林水産業振興のためには、どのような点に重点をおいたら良いと思いますか。（○は2つまで）

農林水産業振興で重点を置くべきと思うことについては、全体では、「農林業従事者や組織など、農林業を支える担い手の確保と育成」が 38.9%で最も高く、次いで「農林産物の流通・販売ルートを確立する」が 31.7%、「農林産物のブランド化を進める」が 26.2%となっています。

年代別にみると、10・20 歳代で「農林産物のブランド化を進める」が、30 歳代以上で「農林業従事者や組織など、農林業を支える担い手の確保と育成」が最も高くなっています。また、60 歳代では「遊休農地を活かす取り組みの強化する」が、50 歳代以上では「有害鳥獣対策の推進」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区でも「農林業従事者や組織など、農林業を支える担い手の確保と育成」が最も高くなっています。また、野沢地区、尾野本地区、群岡地区では「農林産物のブランド化を進める」が、新郷地区では「遊休農地を活かす取り組みの強化する」が、群岡地区、新郷地区、奥川地区では「有害鳥獣対策の推進」が他の地区に比べて高くなっています。



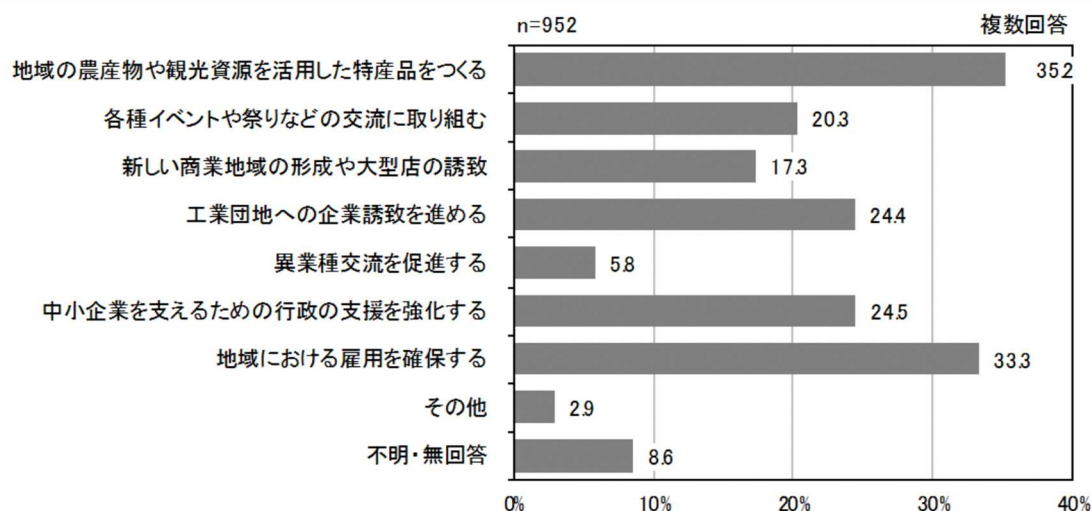
単位: %		n	農林産物のブランド化を進める	農林産物の流通・販売ルートを確立する	遊休農地を活かす取り組みの強化する	農林道や用排水路などの施設整備	有害鳥獣対策の推進	都市住民や観光客との交流の機会を増やす	農林業従事者や組織など、農林業を支える担い手の確保と育成	農林業経営の支援	その他	不明・無回答
全体		952	26.2	31.7	15.0	7.2	18.8	14.8	38.9	9.8	1.9	9.7
年代別	10・20 歳代	203	36.5	33.5	11.8	4.4	12.3	23.6	33.5	13.8	3.4	4.9
	30 歳代	163	33.1	31.9	12.3	10.4	10.4	14.7	36.8	10.4	3.7	8
	40 歳代	61	29.5	36.1	8.2	4.9	11.5	9.8	39.3	13.1	1.6	8.2
	50 歳代	121	17.4	33.9	17.4	8.3	24.0	10.7	42.1	10.7	-	10.7
	60 歳代	169	21.9	27.8	23.7	3.6	23.1	10.7	49.1	8.3	1.2	6.5
	70 歳以上	228	19.3	31.6	14.5	10.1	26.8	13.6	36.8	5.7	0.9	15.8
地区別	野沢地区	342	30.1	37.1	15.8	6.7	13.5	17.5	38.0	9.9	1.8	6.7
	尾野本地区	279	26.9	30.1	14.3	6.5	12.5	12.9	43.4	11.1	2.2	11.5
	群岡地区	133	29.3	29.3	11.3	6.8	26.3	15.0	41.4	5.3	2.3	9.8
	新郷地区	97	16.5	25.8	22.7	8.2	35.1	13.4	35.1	12.4	3.1	4.1
	奥川地区	93	16.1	29.0	12.9	10.8	30.1	11.8	31.2	9.7	-	16.1

問 18 商工業振興のためには、どのような点に重点をおいたら良いと思いますか。(○は2つまで)

商工業振興で重点を置くべきと思うことについては、全体では、「地域の農産物や観光資源を活用した特産品をつくる」が35.2%で最も高く、次いで「地域における雇用を確保する」が33.3%、「中小企業を支えるための行政の支援を強化する」が24.5%となっています。

年代別にみると、40歳代で「工業団地への企業誘致を進める」「地域の農産物や観光資源を活用した特産品をつくる」が、70歳以上で「地域の農産物や観光資源を活用した特産品をつくる」が、それ以外の年代で「地域における雇用を確保する」が最も高くなっています。また、30歳代以下では「各種イベントや祭りなどの交流に取り組む」が、40歳代以下では「新しい商業地域の形成や大型店の誘致」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、野沢地区、新郷地区で「地域における雇用を確保する」が、尾野本地区、群岡地区、奥川地区で「地域の農産物や観光資源を活用した特産品をつくる」が最も高くなっています。また、新郷地区では「工業団地への企業誘致を進める」が他の地区に比べて高くなっています。



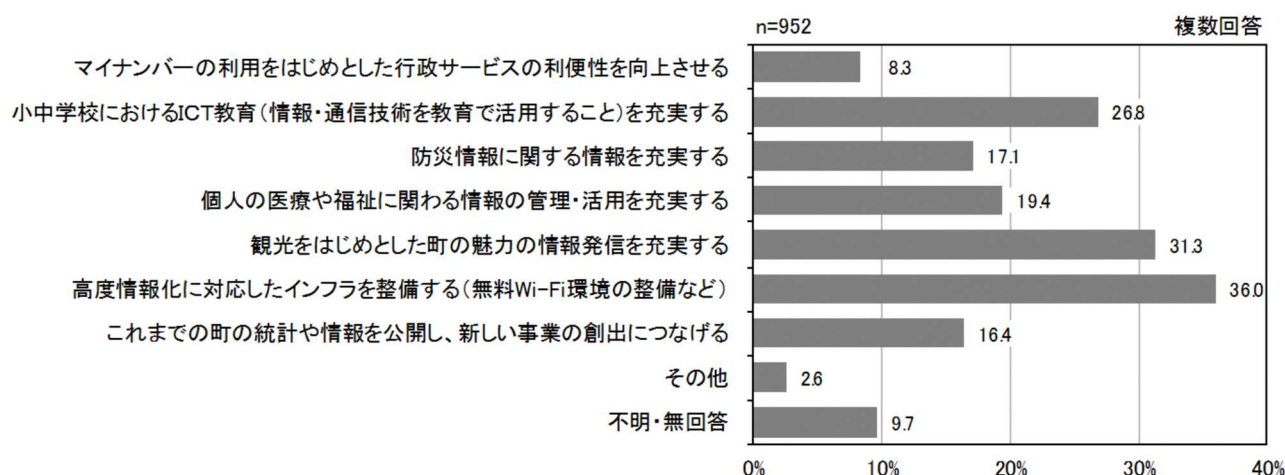
単位: %		n	地域の農産物や観光資源を活用した特産品をつくる	各種イベントや祭りなどの交流に取り組む	新しい商業地域の形成や大型店の誘致	工業団地への企業誘致を進める	異業種交流を促進する	中小企業を支えるための行政の支援を強化する	地域における雇用を確保する	その他	不明・無回答
全体		952	35.2	20.3	17.3	24.4	5.8	24.5	33.3	2.9	8.6
年代別	10・20歳代	203	30.5	35.0	23.2	13.3	9.9	23.6	31.5	3.9	3.4
	30歳代	163	24.5	25.8	25.8	25.8	3.7	24.5	32.5	3.7	8.0
	40歳代	61	31.1	13.1	24.6	31.1	6.6	24.6	21.3	4.9	6.6
	50歳代	121	31.4	14.9	18.2	28.1	5.0	24.0	36.4	3.3	8.3
	60歳代	169	39.6	10.7	13.0	34.3	5.9	21.9	40.8	1.8	7.7
	70歳以上	228	47.4	15.4	7.0	21.9	3.9	27.6	32.0	1.8	14.0
地区別	野沢地区	342	32.5	21.9	16.7	24.6	4.7	28.4	33.0	3.8	7.3
	尾野本地区	279	34.4	20.8	21.9	22.9	6.5	21.9	32.6	3.2	9.3
	群岡地区	133	47.4	16.5	18.0	24.1	2.3	26.3	30.8	2.3	7.5
	新郷地区	97	30.9	14.4	14.4	37.1	8.2	20.6	42.3	2.1	2.1
	奥川地区	93	37.6	23.7	8.6	16.1	10.8	20.4	32.3	1.1	16.1

問 19 情報化の推進のためには、どのような点に重点をおいたら良いと思いますか。(○は2つまで)

情報化の推進で重点を置くべきと思うことについては、全体では、「高度情報化に対応したインフラを整備する(無料Wi-Fi環境の整備など)」が36.0%で最も高く、次いで「観光をはじめとした町の魅力の情報発信を充実する」が31.3%、「小中学校におけるICT教育(情報・通信技術を教育で活用すること)を充実する」が26.8%となっています。

年代別にみると、50歳代以下で「高度情報化に対応したインフラを整備する(無料Wi-Fi環境の整備など)」が、60歳代以上で「観光をはじめとした町の魅力の情報発信を充実する」が最も高くなっています。また、60歳代以上では「これまでの町の統計や情報を公開し、新しい事業の創出につなげる」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、奥川地区で「観光をはじめとした町の魅力の情報発信を充実する」が、それ以外の地区で「高度情報化に対応したインフラを整備する」が最も高くなっています。



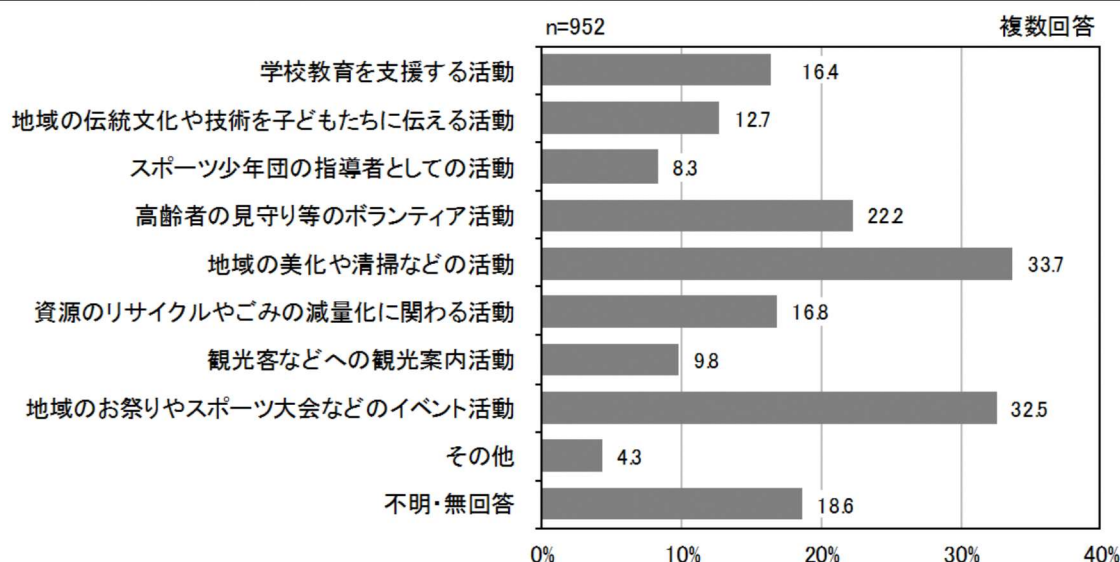
単位: %		n	マイナンバーの利用をはじめとした行政サービスの利便性を向上させる	小中学校におけるICT教育(情報・通信技術を教育で活用すること)を充実する	防災情報に関する情報を充実する	個人の医療や福祉に関わる情報の管理・活用を充実する	観光をはじめとした町の魅力の情報発信を充実する	高度情報化に対応したインフラを整備する(無料Wi-Fi環境の整備など)	これまでの町の統計や情報を公開し、新しい事業の創出につなげる	その他	不明・無回答
全体		952	8.3	26.8	17.1	19.4	31.3	36.0	16.4	2.6	9.7
年代別	10・20歳代	203	7.4	30.0	11.8	14.3	31.0	55.7	12.3	2.5	3.0
	30歳代	163	9.2	31.9	14.1	10.4	30.1	52.8	11.0	4.3	8.0
	40歳代	61	14.8	29.5	16.4	16.4	23.0	42.6	9.8	3.3	4.9
	50歳代	121	9.1	20.7	22.3	19.0	33.1	41.3	14.9	2.5	5.0
	60歳代	169	5.9	29.0	22.5	21.3	36.1	21.3	24.9	3.0	10.1
	70歳以上	228	7.9	21.9	17.5	29.8	30.3	14.0	20.2	1.3	19.3
地区別	野沢地区	342	7.0	27.8	17.5	21.1	32.7	38.3	14.3	1.5	9.1
	尾野本地区	279	9.0	32.3	11.5	15.8	31.5	35.8	17.9	5.0	8.6
	群岡地区	133	9.8	24.8	24.8	18.0	26.3	35.3	18.8	2.3	8.3
	新郷地区	97	10.3	24.7	20.6	23.7	32.0	37.1	14.4	2.1	4.1
	奥川地区	93	7.5	14.0	19.4	21.5	31.2	30.1	18.3	1.1	19.4

問 20 あなたが参加しても良いと思う（すでに参加しているものを含む）活動はありますか。（あてはまるものすべてに○）

参加しても良いと思う活動については、全体では、「地域の美化や清掃などの活動」が33.7%で最も高く、次いで「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」が32.5%、「高齢者の見守り等のボランティア活動」が22.2%となっています。

年代別にみると、40 歳代以下で「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」が、50 歳代以上で「地域の美化や清掃などの活動」が最も高くなっています。また、30 歳代、40 歳代では「学校教育を支援する活動」が、60 歳代以上では「高齢者の見守り等のボランティア活動」が他の年代に比べて高くなっています。

地区別にみると、野沢地区、新郷地区、奥川地区で「地域の美化や清掃などの活動」が、尾野本地区、群岡地区で「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」が最も高くなっています。



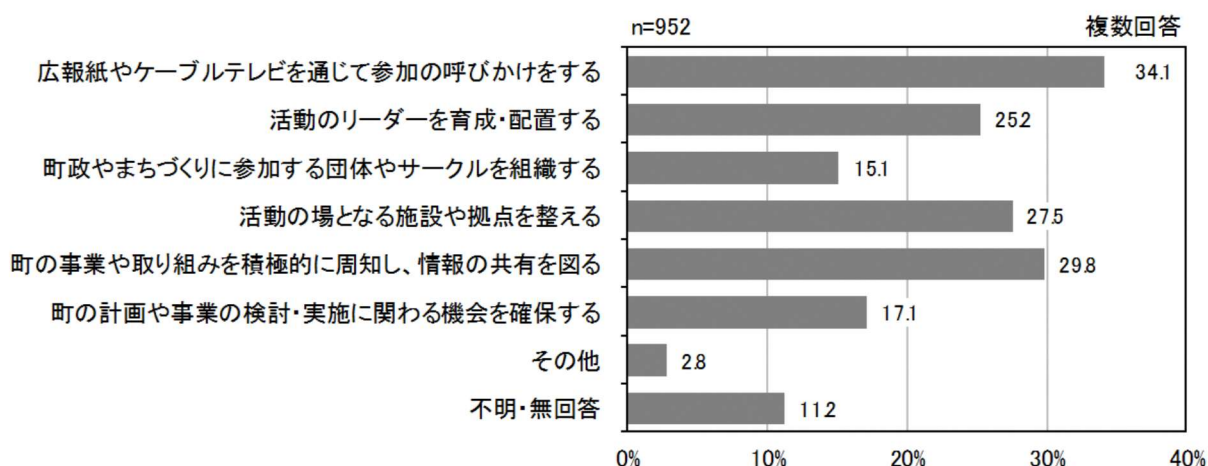
		n	学校教育を支援する活動	地域の伝統文化や技術を子どもたちに伝える活動	スポーツ少年団の指導者としての活動	高齢者の見守り等のボランティア活動	地域の美化や清掃などの活動	資源のリサイクルやごみの減量化に関わる活動	観光客などへの観光案内活動	地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動	その他	不明・無回答
単位：%												
全体		952	16.4	12.7	8.3	22.2	33.7	16.8	9.8	32.5	4.3	18.6
年代別	10・20 歳代	203	19.7	11.8	16.3	16.3	26.6	14.8	14.8	42.4	4.4	13.8
	30 歳代	163	24.5	12.3	16.6	15.3	28.8	17.2	12.9	37.4	0.6	19.6
	40 歳代	61	27.9	11.5	8.2	13.1	24.6	9.8	3.3	42.6	6.6	18.0
	50 歳代	121	14.0	6.6	5.8	21.5	39.7	17.4	10.7	35.5	5.8	16.5
	60 歳代	169	13.0	14.2	1.8	30.8	40.8	19.5	8.9	25.4	4.1	18.9
	70 歳以上	228	8.8	16.2	1.8	28.5	38.6	18.0	5.3	21.1	5.7	22.4
	地区別	野沢地区	342	17.0	12.3	8.5	22.5	33.6	18.1	9.9	33.3	4.1
尾野本地区	279	18.6	13.3	9.0	21.9	30.8	16.5	10.8	33.0	4.7	19.0	
群岡地区	133	11.3	13.5	9.8	21.8	32.3	21.8	7.5	36.8	4.5	15.0	
新郷地区	97	17.5	12.4	3.1	22.7	44.3	8.2	10.3	26.8	4.1	18.6	
奥川地区	93	15.1	11.8	9.7	22.6	35.5	15.1	9.7	29.0	4.3	20.4	

問 21 町政やまちづくりにおいて町民の参加を進めていくために、どのような点に重点をおいたら良いと思いますか。(○は2つまで)

町政やまちづくりにおいて町民の参加を進めていく面で重点を置くべきと思うことについては、全体では、「広報紙やケーブルテレビを通じて参加の呼びかけをする」が34.1%で最も高く、次いで「町の事業や取り組みを積極的に周知し、情報の共有を図る」が29.8%、「活動の場となる施設や拠点を整える」が27.5%となっています。

年代別にみると、10・20歳代で「活動の場となる施設や拠点を整える」が、40歳代、60歳代で「町の事業や取り組みを積極的に周知し、情報の共有を図る」が、それ以外の年代で「広報紙やケーブルテレビを通じて参加の呼びかけをする」が最も高くなっています。

地区別にみると、いずれの地区でも「広報紙やケーブルテレビを通じて参加の呼びかけをする」が最も高くなっています。



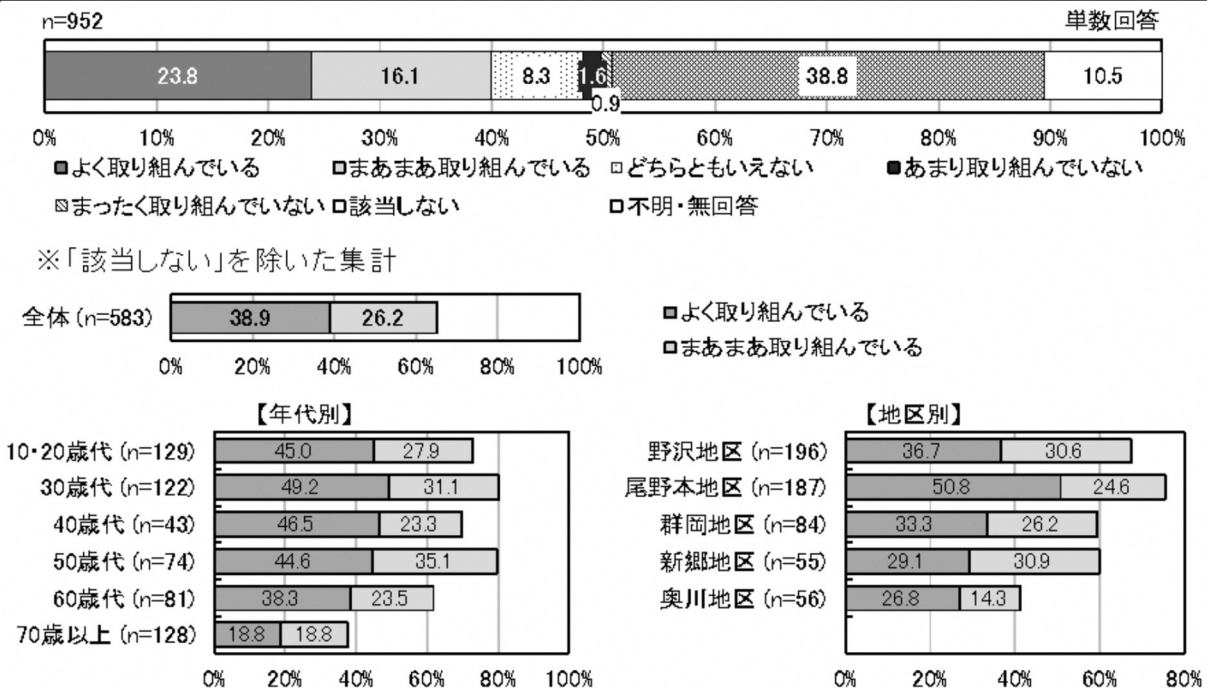
単位: %		n	広報紙やケーブルテレビを通じて参加の呼びかけをする	活動のリーダーを育成・配置する	町政やまちづくりに参加する団体やサークルを組織する	活動の場となる施設や拠点を整える	町の事業や取り組みを積極的に周知し、情報の共有を図る	町の計画や事業の検討・実施に関わる機会を確保する	その他	不明・無回答
全体		952	34.1	25.2	15.1	27.5	29.8	17.1	2.8	11.2
年代別	10・20歳代	203	31.5	23.2	17.7	36.0	28.1	16.3	3.4	7.9
	30歳代	163	36.8	30.1	11.7	27.6	23.3	20.9	4.3	9.2
	40歳代	61	29.5	14.8	16.4	27.9	36.1	9.8	3.3	11.5
	50歳代	121	33.9	28.9	16.5	24.8	33.1	17.4	1.7	6.6
	60歳代	169	30.2	30.8	20.1	24.9	35.5	17.8	3.0	5.9
	70歳以上	228	39.0	21.1	11.0	23.7	28.9	16.7	1.8	20.6
地区別	野沢地区	342	30.7	25.7	14.9	30.1	28.1	19.3	2.9	10.5
	尾野本地区	279	35.1	25.1	11.8	28.7	32.6	13.6	3.2	10.4
	群岡地区	133	42.9	25.6	17.3	25.6	30.1	15.0	3.0	9.8
	新郷地区	97	35.1	22.7	21.6	21.6	29.9	27.8	1.0	8.2
	奥川地区	93	30.1	28.0	16.1	24.7	29.0	11.8	3.2	19.4

問 22 あなたが現行の総合計画に定められている以下の取り組みについて、どれくらい取り組んでいますか。(項目ごとにそれぞれ1つに○)

(1) 子どものいる家庭では、子どもと一緒に食事をするようこころがけます。

全体では、「該当しない」を除くと、65.1%が『取り組んでいる』と回答しています。

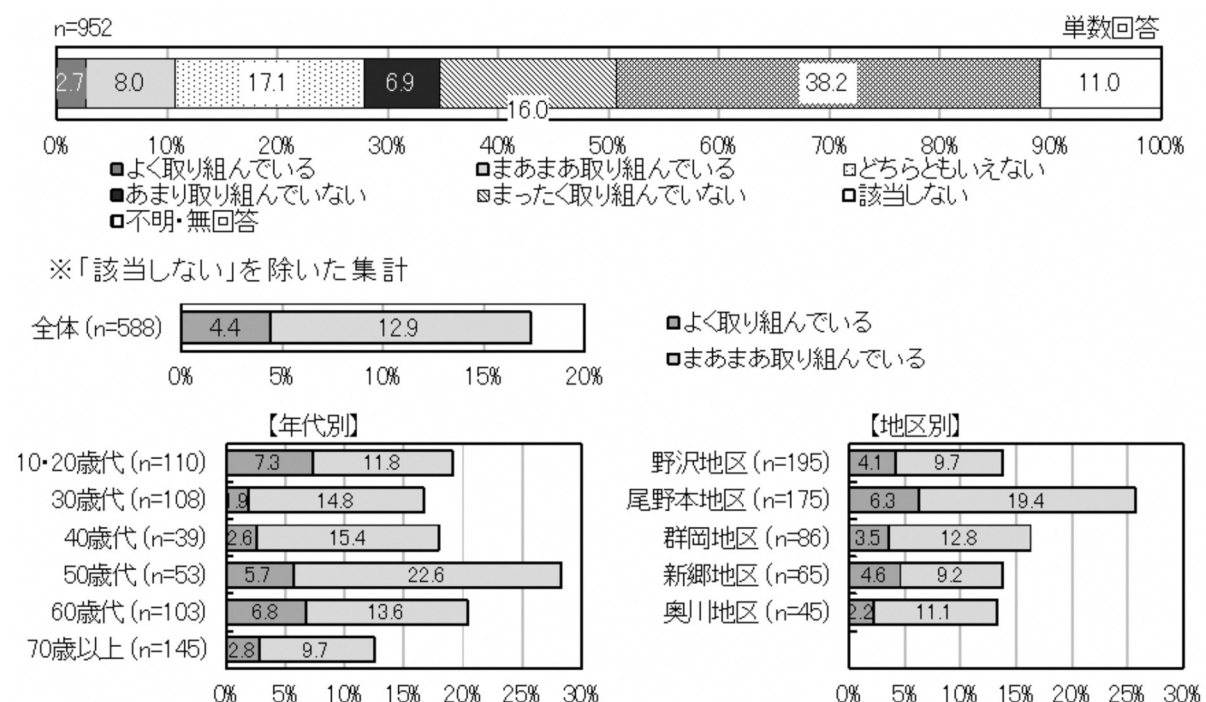
年代別では 30 歳代、50 歳代で、地区別では尾野本地区、野沢地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(2) 「学社連携教室」や「放課後子ども教室」などで、地域文化の理解、スポーツ指導などに協力します。

全体では、「該当しない」を除くと、17.3%が『取り組んでいる』と回答しています。

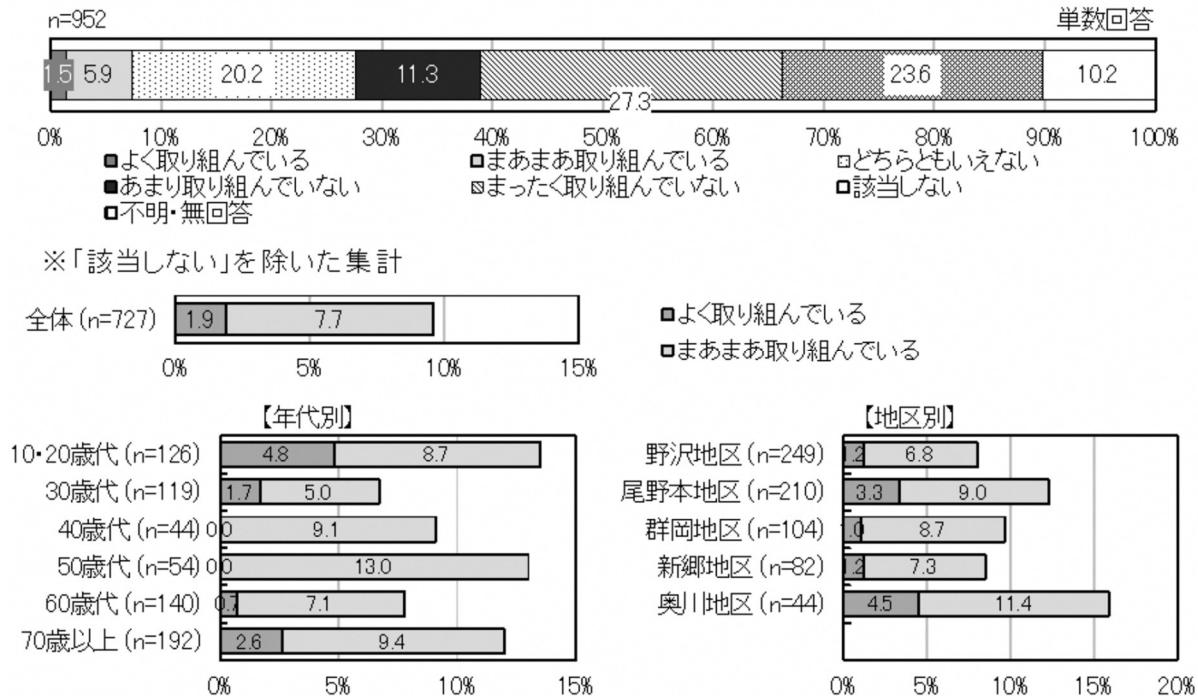
年代別では 50 歳代で、地区別では尾野本地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(3) 生涯学習活動の企画・運営に積極的に参加します。

全体では、「該当しない」を除くと、9.6%が『取り組んでいる』と回答しています。

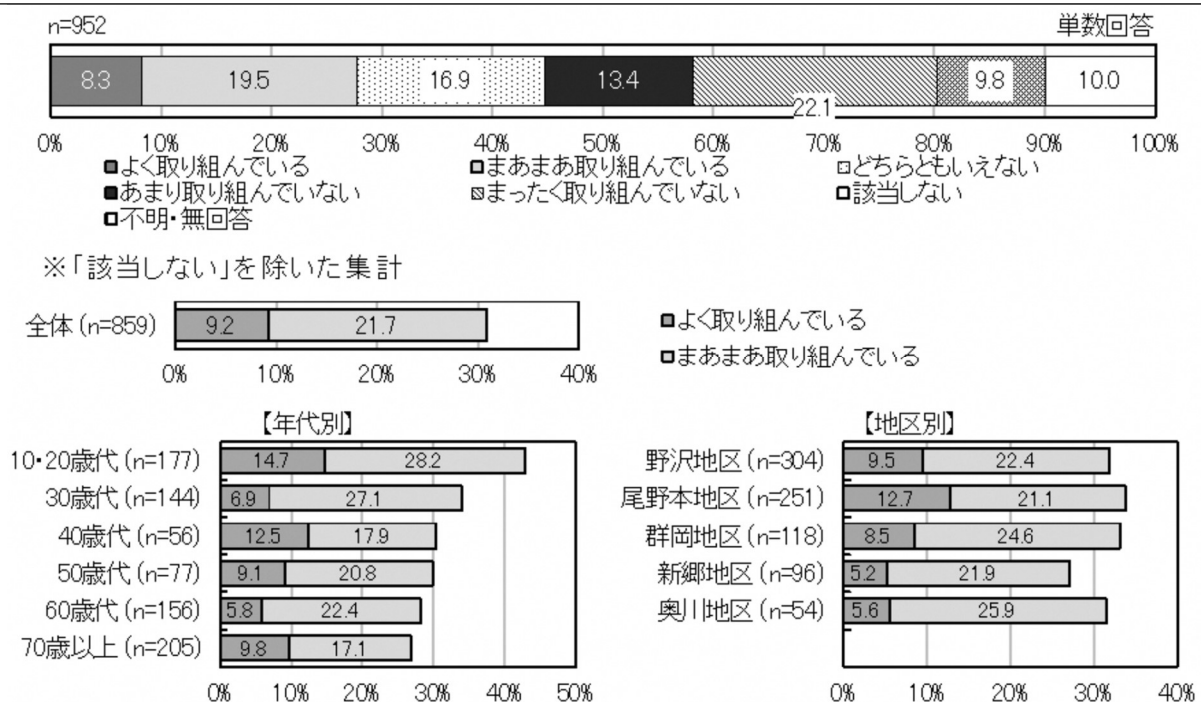
年代別では10・20歳代で、地区別では奥川地区、尾野本地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(4) 自分に合ったスポーツや運動へ積極的に取り組みます。

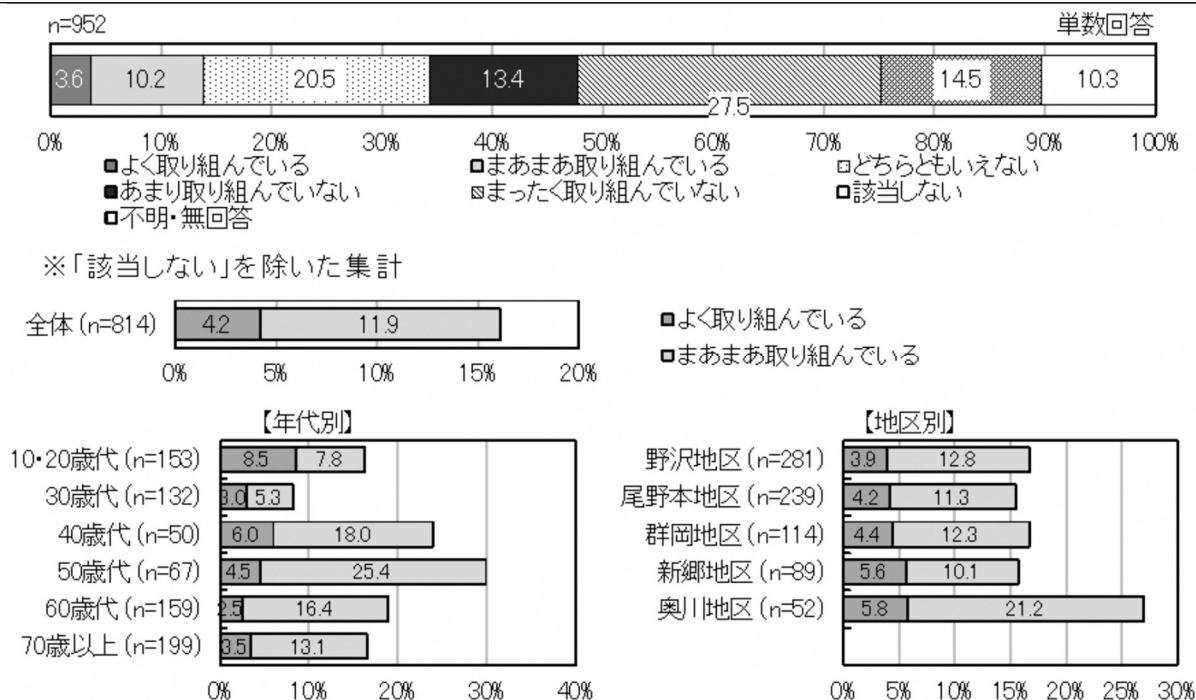
全体では、「該当しない」を除くと、30.9%が『取り組んでいる』と回答しています。

年代別では10・20歳代で『取り組んでいる』が高くなっています。



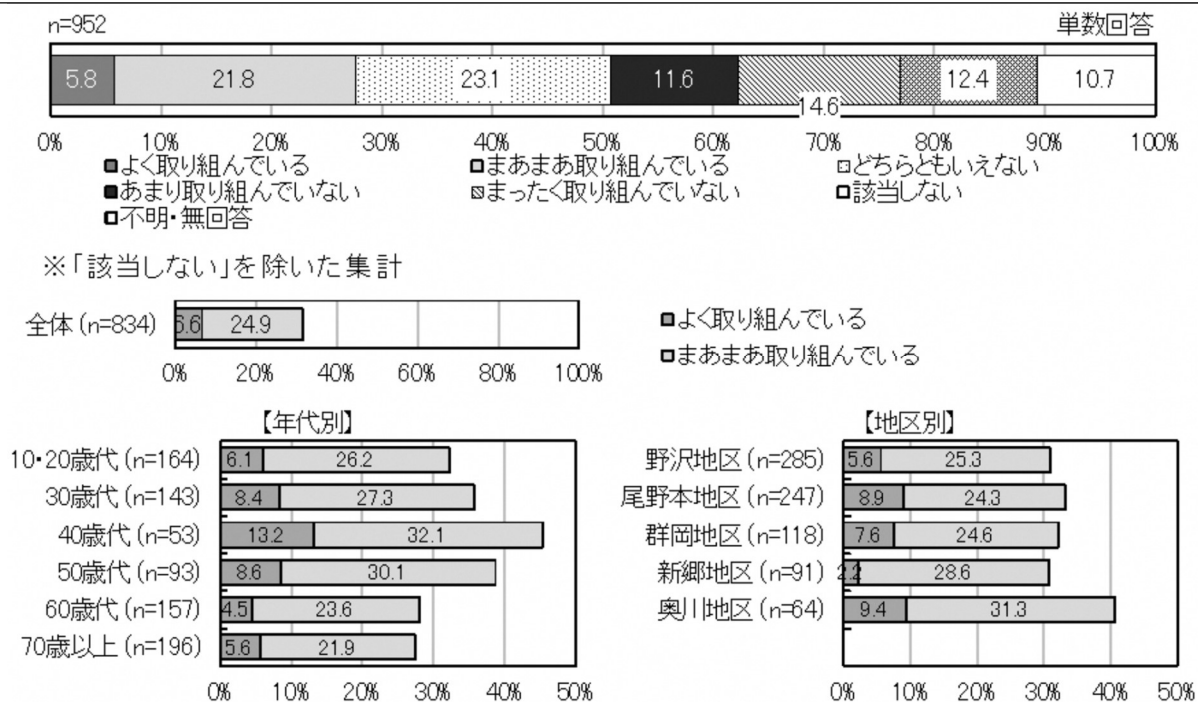
(5) 地域に伝わる伝統文化・民俗芸能の継承活動に協力します。

全体では、「該当しない」を除くと、16.1%が『取り組んでいる』と回答しています。
年代別では50歳代で、地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(6) 町内産農林産物に目を向け、地産地消に取り組みます。

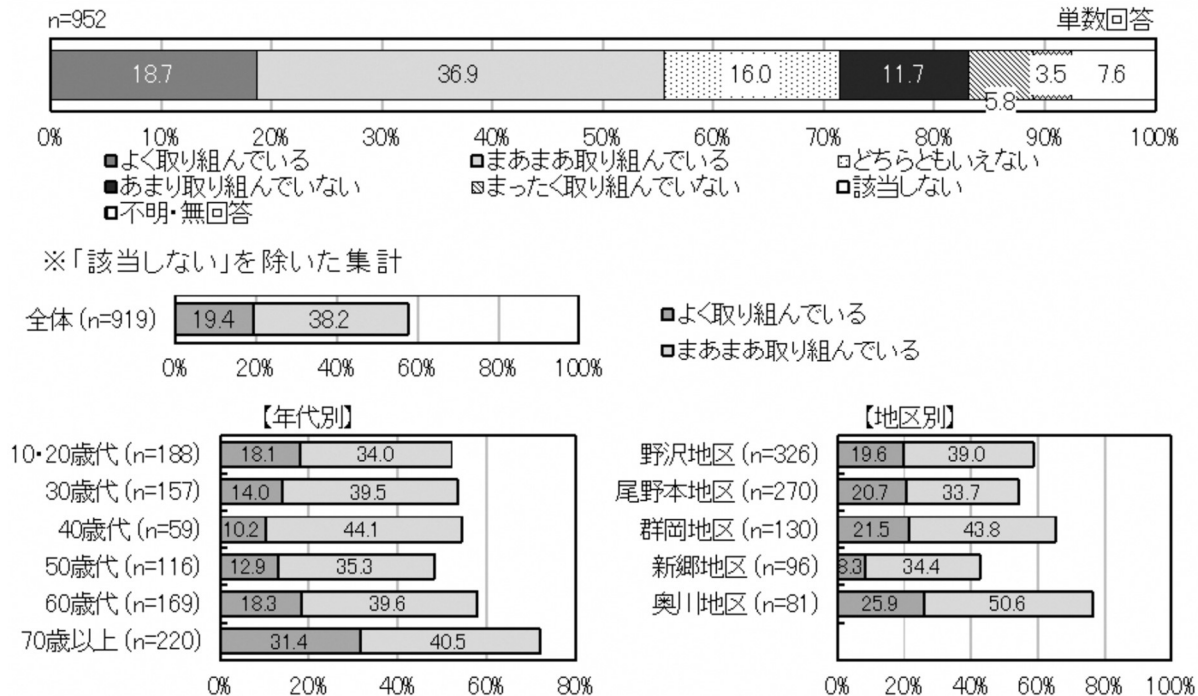
全体では、「該当しない」を除くと、31.5%が『取り組んでいる』と回答しています。
年代別では40歳代で、地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(7) 地元で買えるものは地元の商店を利用します。

全体では、「該当しない」を除くと、57.6%が『取り組んでいる』と回答しています。

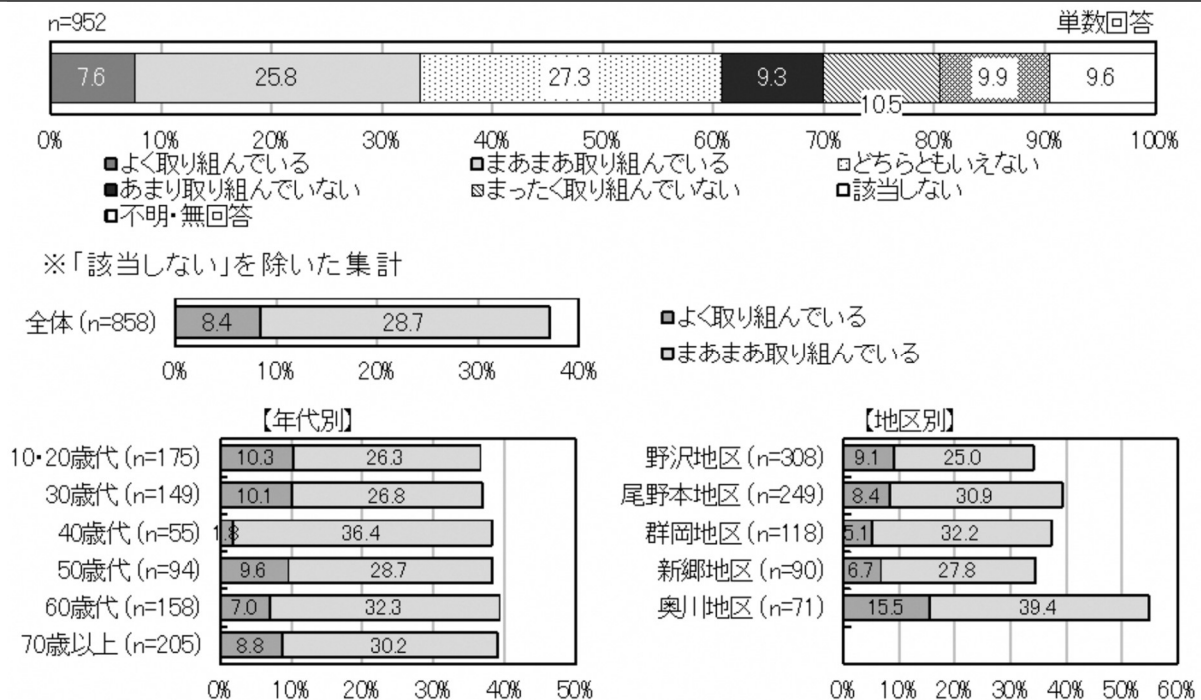
年代別では70歳以上が、地区別では奥川地区、群岡地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(8) 観光客に対して、挨拶をする、道案内をする、庭先をきれいにするなど、無理なくできる範囲の「おもてなし」を心掛けます。

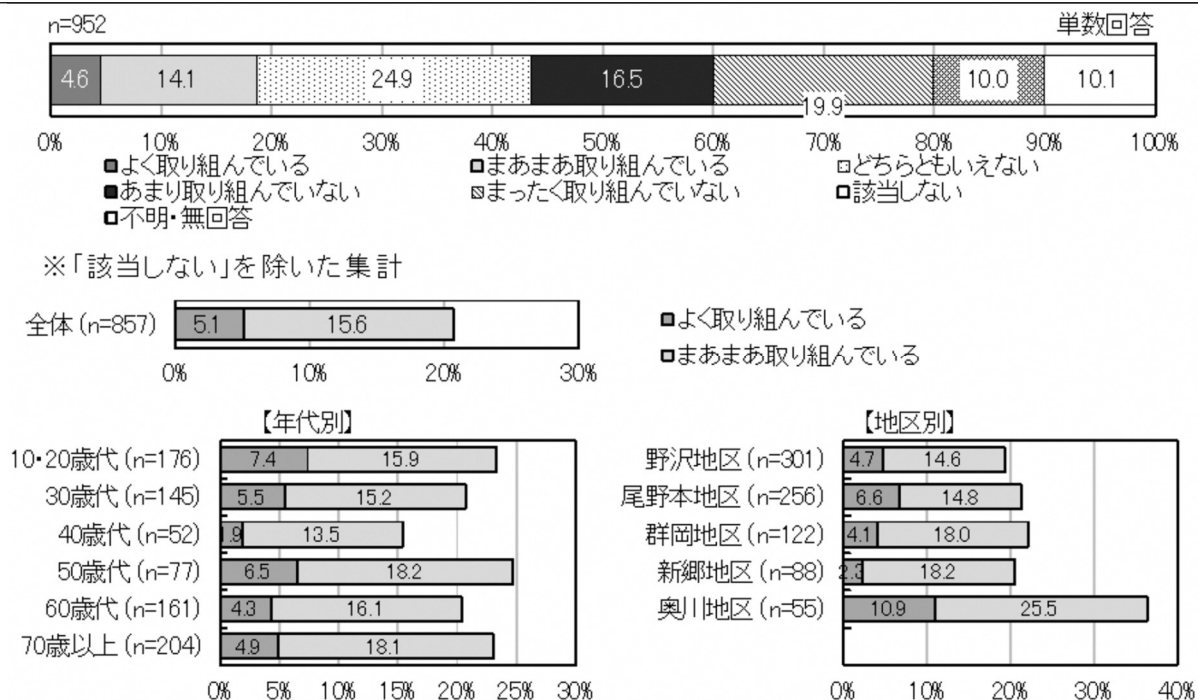
全体では、「該当しない」を除くと、37.1%が『取り組んでいる』と回答しています。

地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



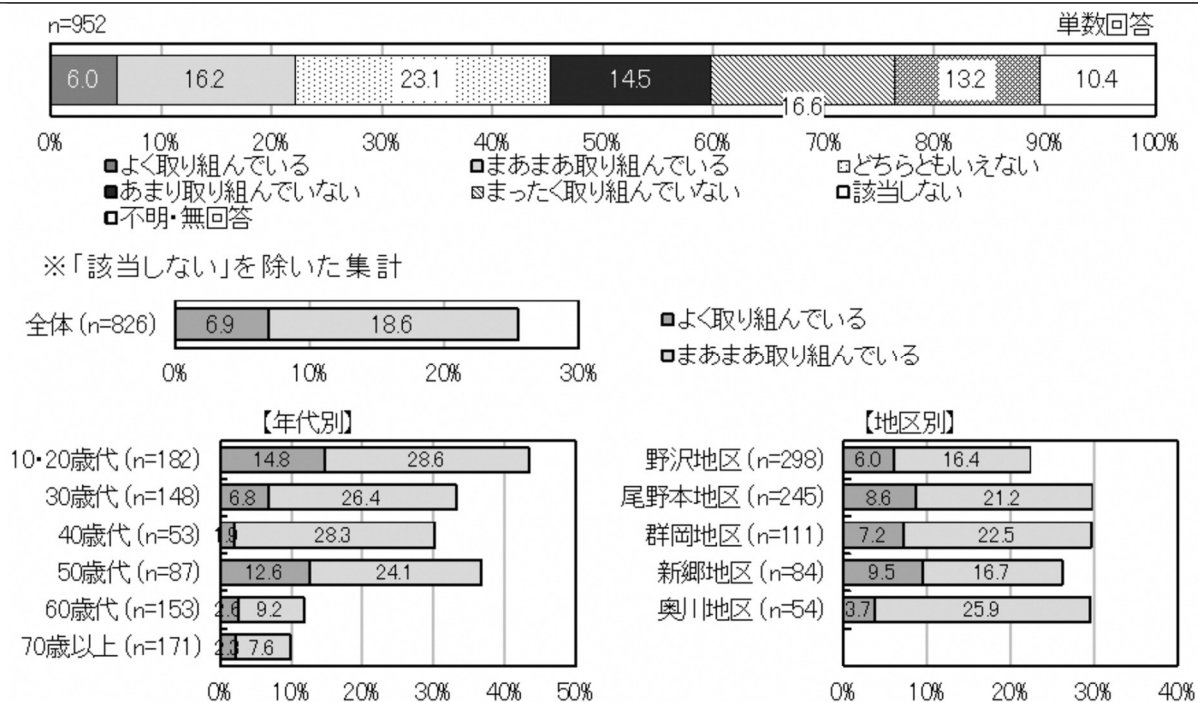
(9) 交流イベントなどへ積極的に参加し、「人」の交流を深めます。

全体では、「該当しない」を除くと、20.7%が『取り組んでいる』と回答しています。
年代別では50歳代で、地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(10) ICT（情報・通信技術）を便利なツールとして活用します。

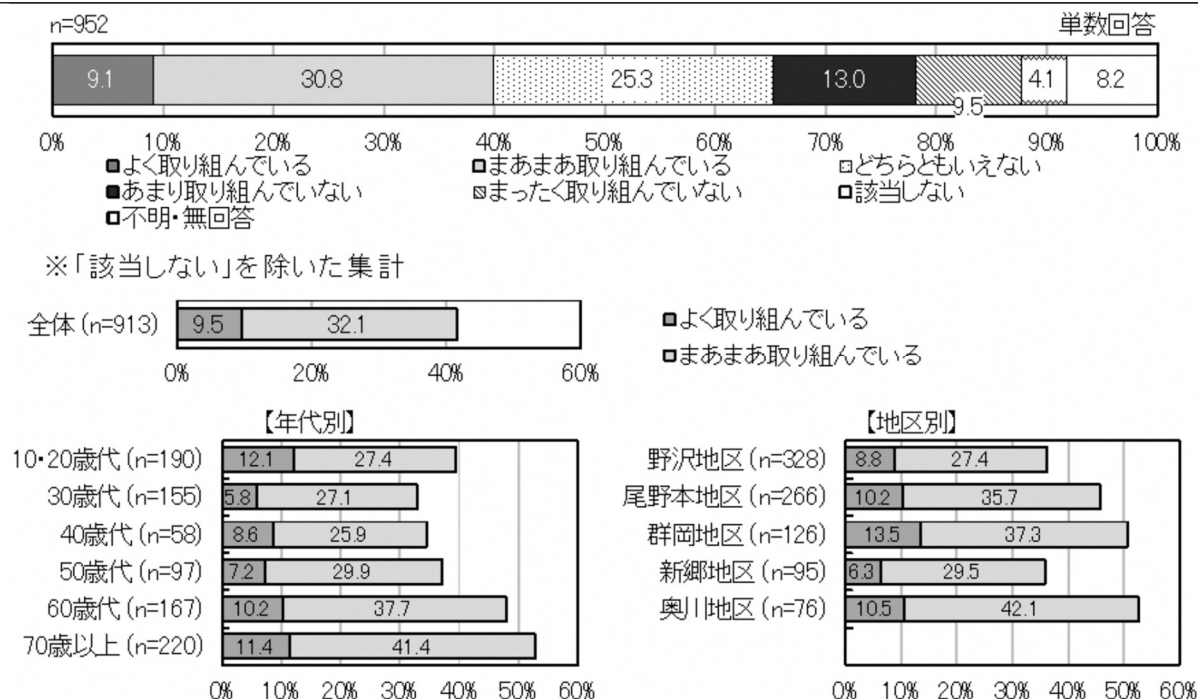
全体では、「該当しない」を除くと、25.5%が『取り組んでいる』と回答しています。
年代別では10・20歳代、50歳代で『取り組んでいる』が高くなっています。



(11) 楽しく自分に合った健康づくりを実践します。

全体では、「該当しない」を除くと、41.6%が『取り組んでいる』と回答しています。

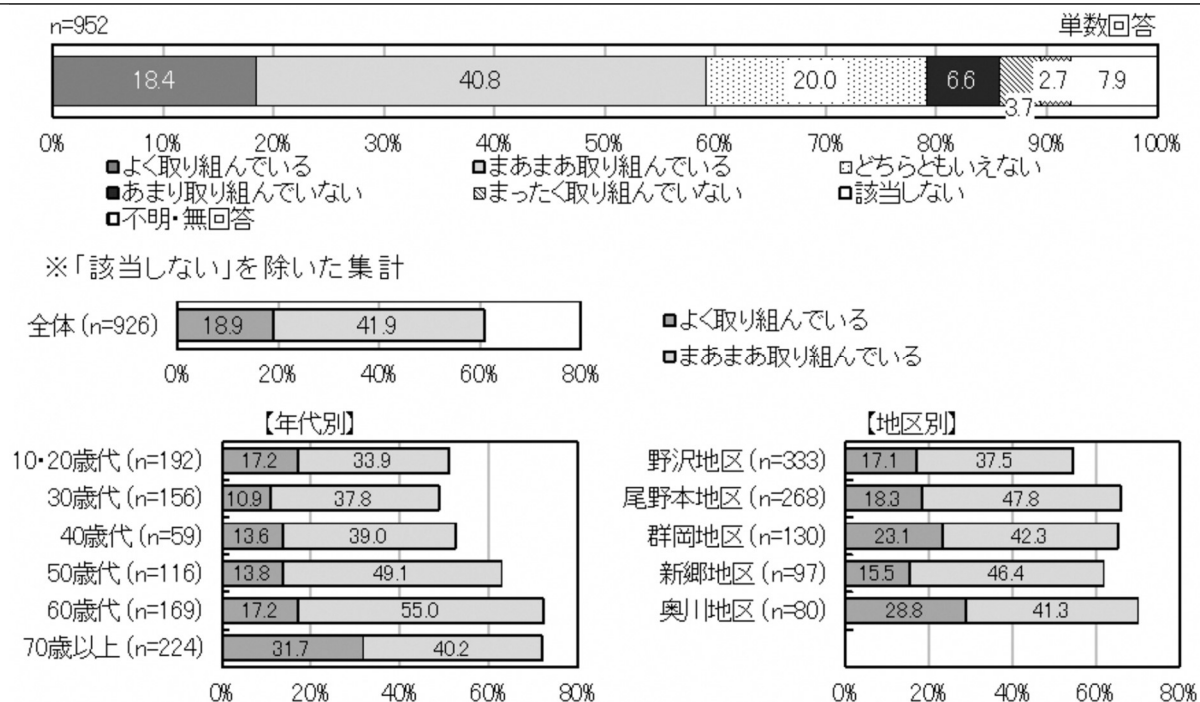
年代別では60歳代以上が、地区別では奥川地区、群岡地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(12) 家庭での健康管理に注意し重症化する前に受診します。

全体では、「該当しない」を除くと、60.8%が『取り組んでいる』と回答しています。

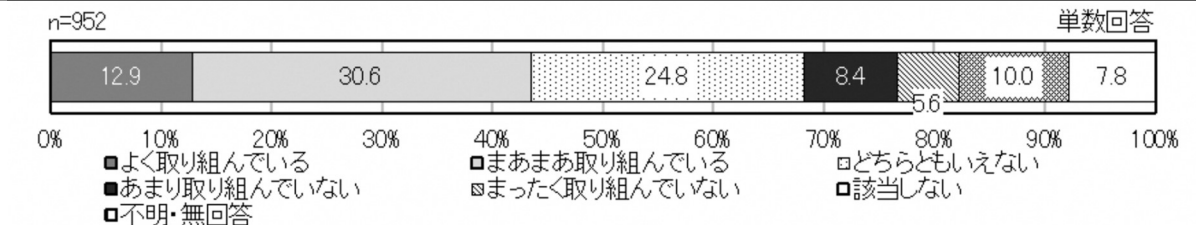
年代別では50歳代以上で、地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



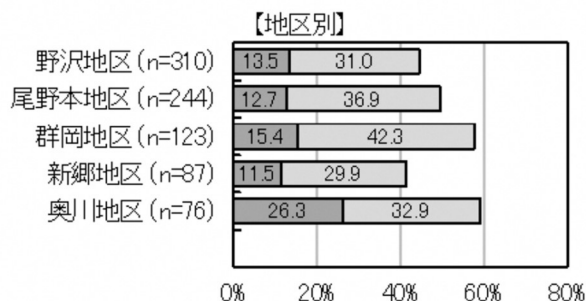
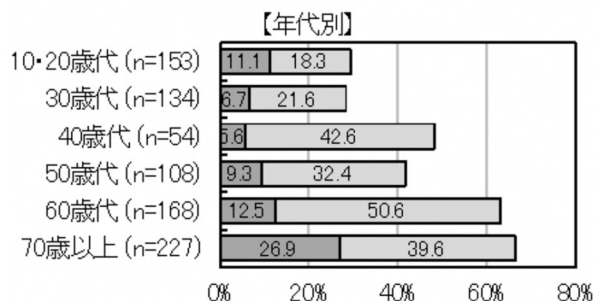
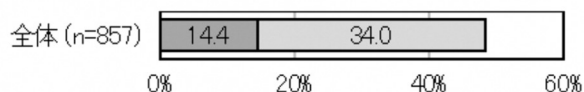
(13) 自らの介護予防に努めます。

全体では、「該当しない」を除くと、48.4%が『取り組んでいる』と回答しています。

年代別では60歳代以上で、地区別では奥川地区、群岡地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



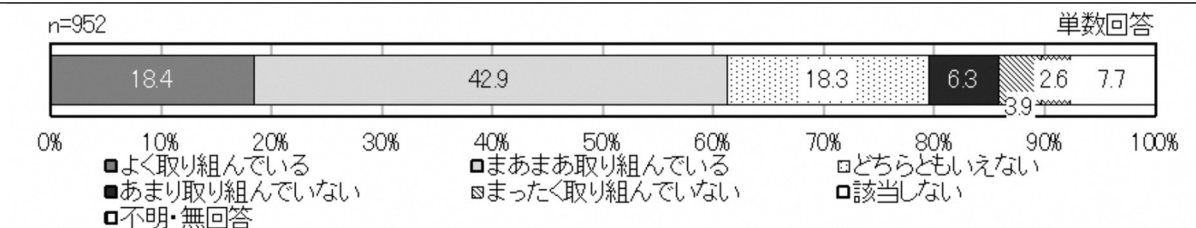
※「該当しない」を除いた集計



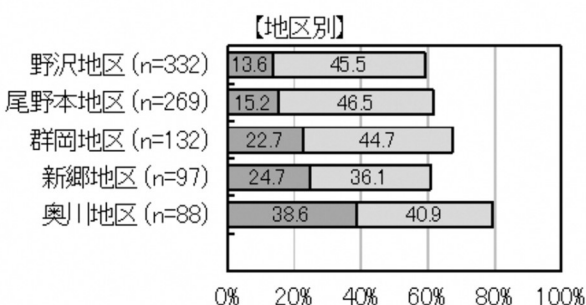
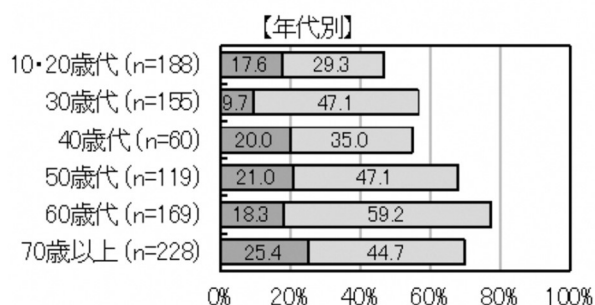
(14) 集落内のつながり（絆）を大事にしています。

全体では、「該当しない」を除くと、62.9%が『取り組んでいる』と回答しています。

年代別では50歳代以上で、地区別では奥川地区、群岡地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



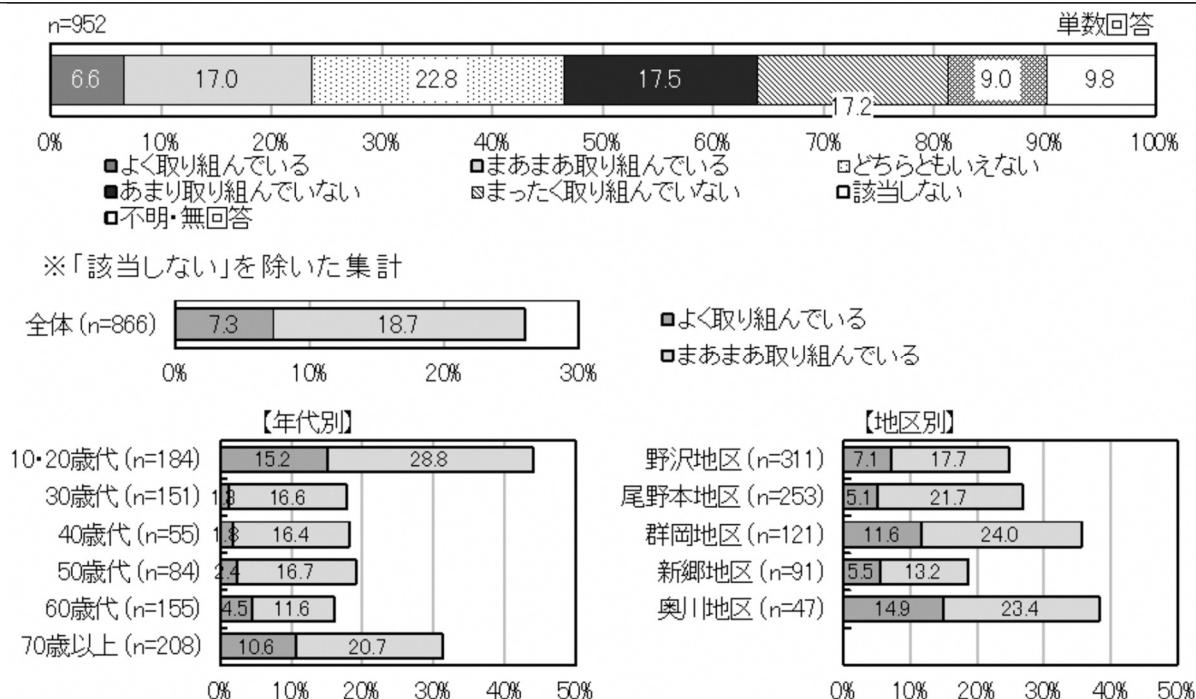
※「該当しない」を除いた集計



(15) 公共交通機関の積極的な利用をころがけます

全体では、「該当しない」を除くと、26.0%が『取り組んでいる』と回答しています。

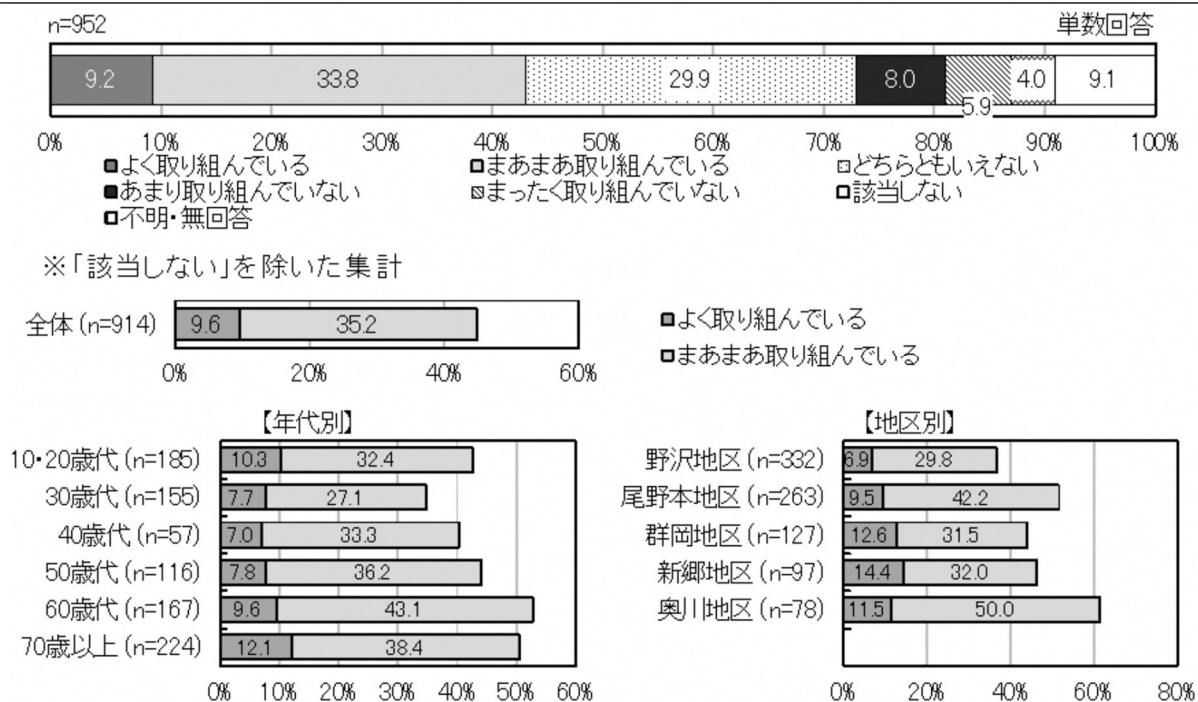
年代別では10・20歳代、70歳以上が、地区別では奥川地区、群岡地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(16) 道路環境の美化、愛護に努めます。

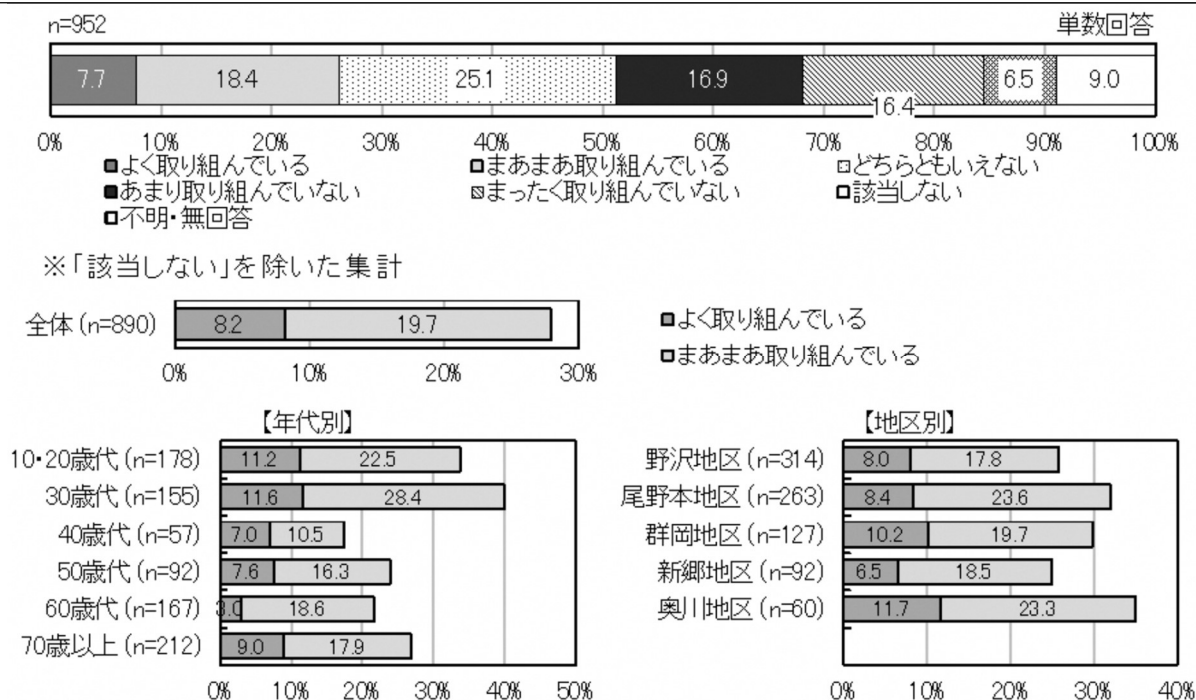
全体では、「該当しない」を除くと、44.8%が『取り組んでいる』と回答しています。

年代別では60歳代以上が、地区別では奥川地区、尾野本地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



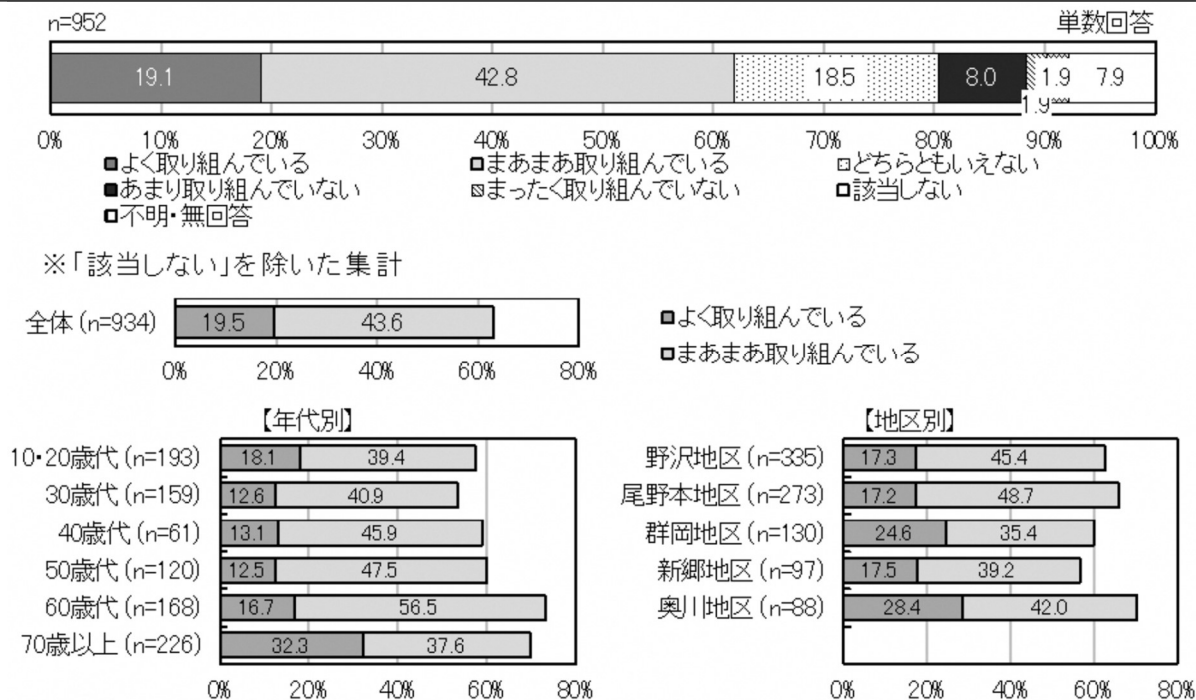
(17) 雪国まつりなどのイベントに積極的に参加します。

全体では、「該当しない」を除くと、27.9%が『取り組んでいる』と回答しています。
年代別では30歳代以下で、地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(18) 節水をこころがけます。

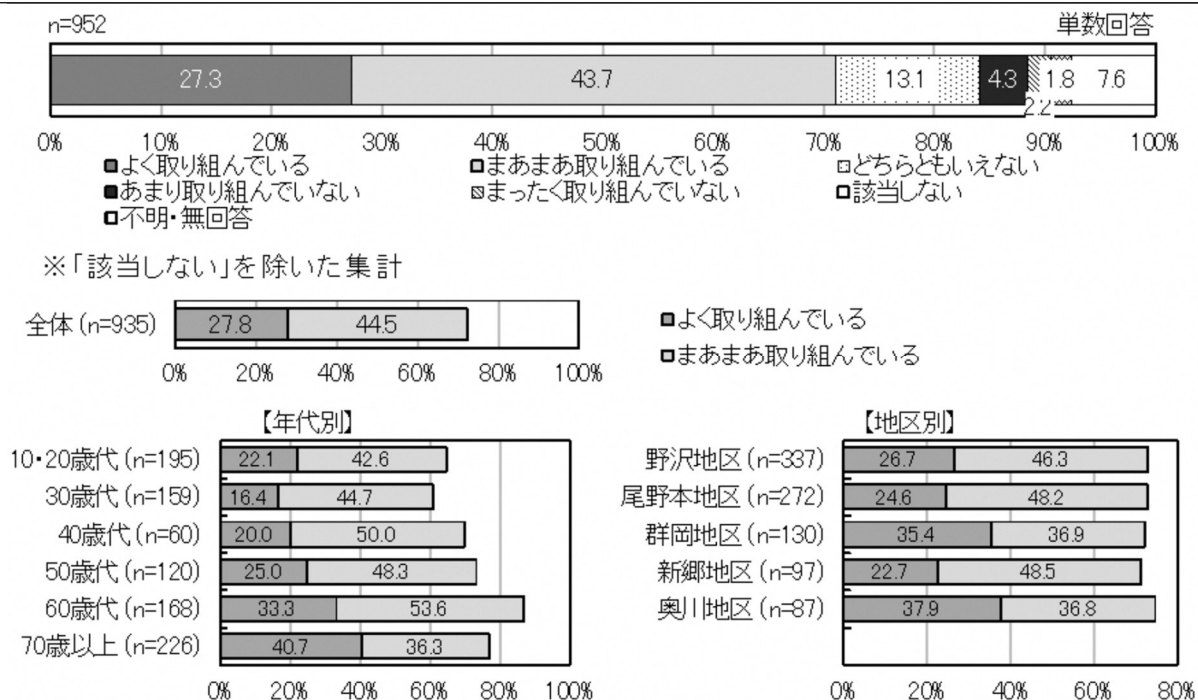
全体では、「該当しない」を除くと、63.1%が『取り組んでいる』と回答しています。
年代別では60歳代以上が、地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(19) ゴミの分別を徹底し、減量化に努めます。

全体では、「該当しない」を除くと、72.3%が『取り組んでいる』と回答しています。

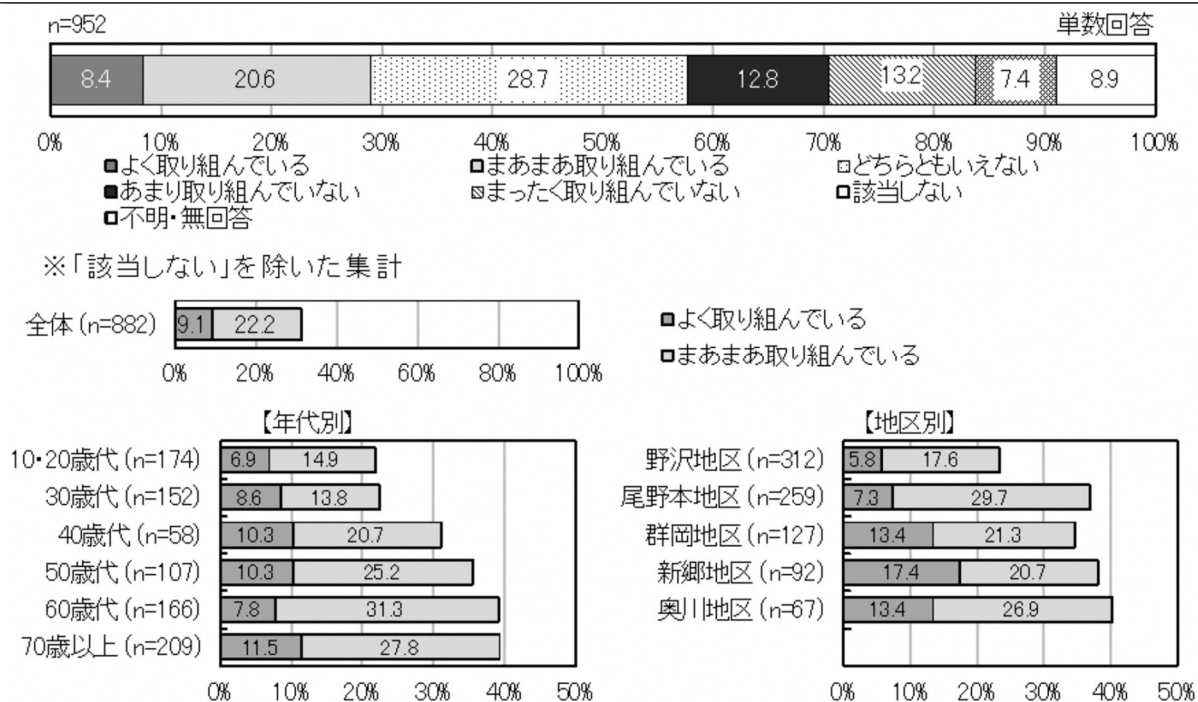
年代別では60歳代で『取り組んでいる』が高くなっています。



(20) 各種防災訓練に積極的に参加します。

全体では、「該当しない」を除くと、31.3%が『取り組んでいる』と回答しています。

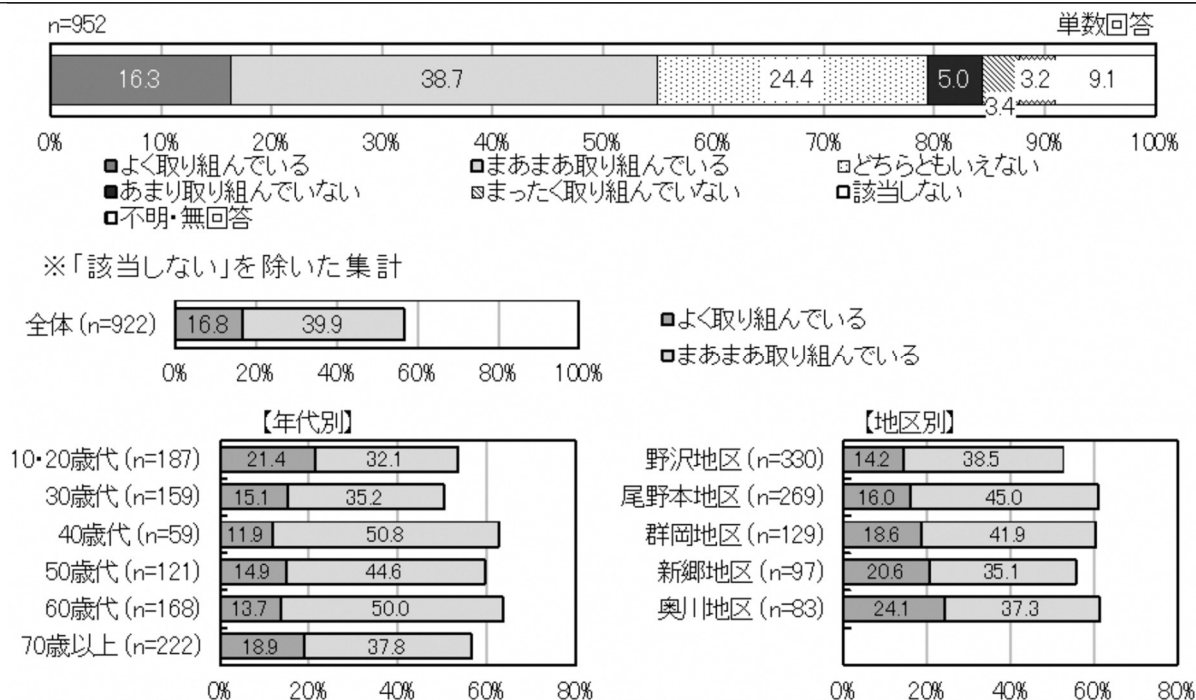
年代別では50歳代以上で『取り組んでいる』が高くなっています。



(21) 豊かな自然環境の保全・再生に努めます。(自然を大切にします)

全体では、「該当しない」を除くと、56.7%が『取り組んでいる』と回答しています。

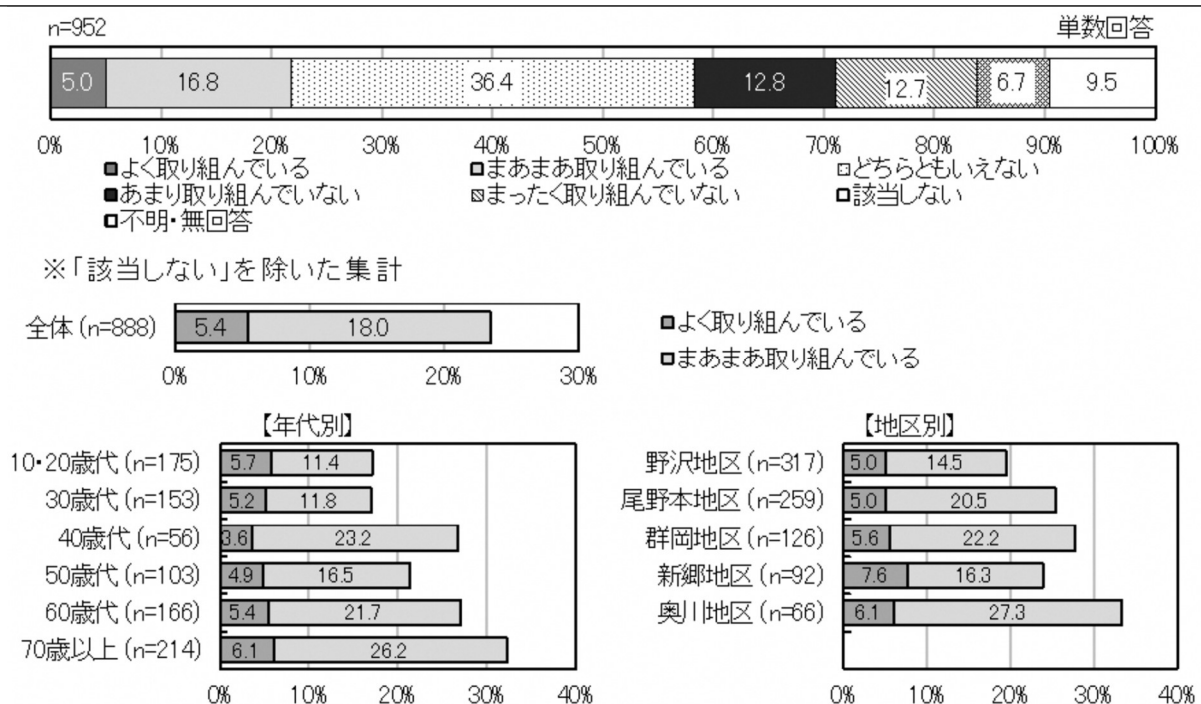
年代別では40歳代～60歳代で『取り組んでいる』が高くなっています。



(22) まちづくり基本条例・町民憲章にもとづき、まちづくりに積極的に参加します。

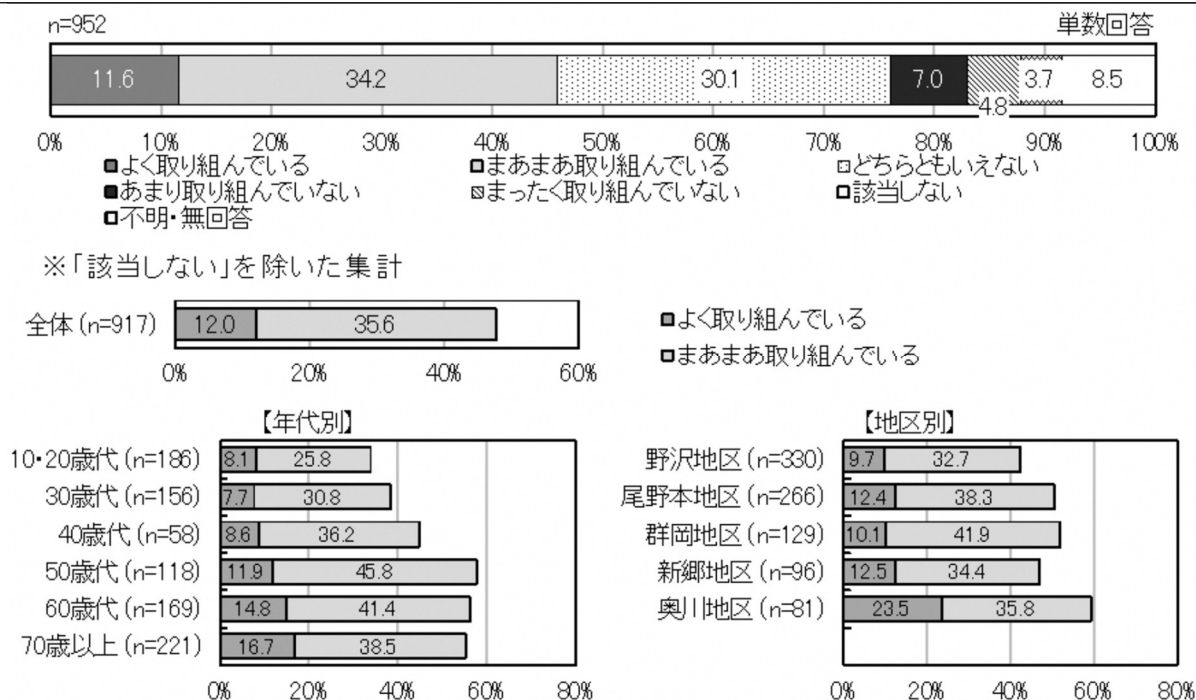
全体では、「該当しない」を除くと、23.4%が『取り組んでいる』と回答しています。

年代別では40歳代、60歳代以上で、地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



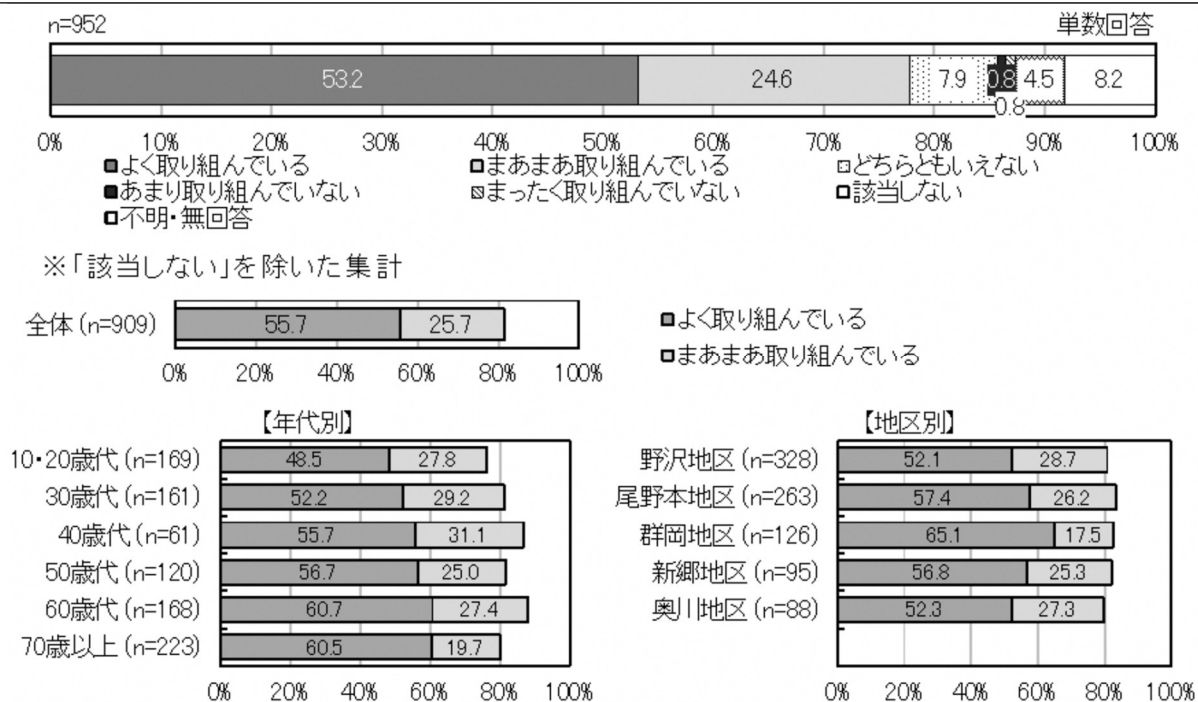
(23) 地域の生活の中で、自分たちができることは、主体性をもって取り組みます。

全体では、「該当しない」を除くと、47.6%が『取り組んでいる』と回答しています。
年代別では50歳代以上で、地区別では奥川地区で『取り組んでいる』が高くなっています。



(24) 決められた税や各種使用料等は、納入期限を守り納入します。

全体では、「該当しない」を除くと、81.4%が『取り組んでいる』と回答しています。
年代別では40歳代、60歳代で『取り組んでいる』が高くなっています。



4. 自由回答

※別紙のとおり